

# 健 康 課

## ○ 健康文化都市推進事業

生涯を健康で暮らせるような「健康文化都市」をめざし、健康づくり指針(伊勢市健康増進計画)に基づき、健康文化週間・健康の日を中心に様々な啓発事業を実施した。また、肥満予防を目的に「低カロリー・バランス食」の啓発やウォーキングの推進を図るため、レシピ集の発行や自治会等とウォーキング大会を実施したり、皇學館大学へのウォーキングルートの検証委託を継続した。(事業費 1,641,689 円)

区 分	実施場所	回 数	延 べ 人 数
健康文化週間啓発事業	中央保健センター 小俣保健センター 他	7 回	880 人
健康の日啓発事業	中央保健センター ハートプラザみその 他	11	590
ウォーキング大会	大湊町他	4	174
健康づくりアドバイザー 一養成講座	中央保健センター	6	130
健康づくり教室	中央保健センター 他	16	699
計		44	2,473

生活習慣病予防のための運動や健康づくりを目的に自主的に活動し実践しているグループに対して、健康づくり広場の提供や市民の活動の支援に努めた。

区 分	対象者	回 数	参加者数
運動教室OB会	運動教室修了者	178 回	6,357 人
健康づくりアドバイザー	健康づくりアドバイザー 一養成講座修了者	9	116

## ○ 救急医療関係

一次救急医療事業委託

休日・夜間応急診療所への医師派遣調整及び救急医療知識の普及啓発並びに情報提供業務を伊勢地区医師会に委託し、休日及び毎夜間における一次救急医療体制の確保を図るとともに、市民に救急業務に関する正しい理解と知識を深めてもらうよう「救急を考える集い」を開催した。

また、市民が参加するイベントなどにおいて、突然の心停止時に早期に対応できるよう、救命措置に必要なAED(自動体外式除細動器)の貸出を行った。(事業費 4,560,600 円)

	実施日	実施場所	内 容	参加者数
救急を考える 集い	9月6日	ハートプラザ みその	「防災への気づき」講演、「心肺蘇生法とAEDの取扱」講習、パネル展示 他	315 人

AED貸出	件数(台数)	延べ日数	貸 出 行 事
	16件 (23台)	102日	おおまつり、体育祭、花火大会、運動会他

## ○ 新型インフルエンザ対策

4月28日に対策本部を設置し、対策本部会議8回・危機対策会議1回を開き、各発生状況に応じた対策を実施した。

- ・ 国内未発生期には、相談窓口の設置、マスク・消毒液等の備蓄を進めると共に、対策チラシを広報と同時に配布、全学校・保育所に向けたチラシも配布、駅前・スーパー等の集客施設でもチラシを配布するなど啓発に努めた。
- ・ 国内発生以降は、相談窓口の増員体制を図ったり、休日・夜間応急診療所での診療体制の整備・必要器材の確保を行なうと共に、刻々と変わる患者の検査方法・報告体制に応じた措置を講じた。
- ・ 大規模流行期には、インフルエンザの流行を乗り越えるための講演会を開くと共に、国が実施する予防接種に必要な体制の整備を進め、ワクチン接種に係る補助及び市独自の一部補助を実施した。(事業費 11,403,250円)

講演名	開催場所	参加者	内 容
新型インフルエンザの予防と治療	ハートプラザみその	150人	H21.10.04 国立病院機構三重病院 中野 貴司 先生

## ○ 食生活改善推進事業

健康づくりの推進の基本となる日常の食生活を適正なものにするため、食生活改善推進員の養成及び推進員を中心とした地域住民の自主的な活動に対する支援を行った。

(事業費 838,245円)

区 分	対 象 者	回 数	参 加 者 数
食から出発健康セミナー	市 民	6回	129人
ヘルスメイト料理講習会・伝達講習会	〃	116	2,794
保健事業への協力	〃	57	230

## ○ 予防接種事業

予防接種法に基づき、伝染のおそれがある疾病の発生及びまん延を予防するため、市内及び県内の医療機関において各種予防接種を実施した。

BCGにおいては、期間内に医学的な事由により接種できなかった者に対し、12か月に至るまでの間に接種した場合に限り費用の一部を助成した。

新型インフルエンザにおいては、優先接種対象者に対して11月から接種を開始し、生活保護世帯・市民税非課税世帯等に対して費用の全額を、課税世帯の中学3年までに対して一部助成を行った。(事業費 191,278,425円)

予防接種区分	対象年齢・世帯	時 期	人 数	金 額
D T 二種混合	(2期) 11歳～13歳未満	通 年	901人	4,503,198円
D P T 三種混合	生後3か月～90か月未満	〃	4,169	30,491,316
日本脳炎	(1期) 3歳～90か月未満	〃	3,174	22,015,742
	(2期) 9歳～13歳未満	〃	523	2,633,557
ポリオ	生後3か月～90か月未満	〃	1,818	12,398,835
麻しん風しん (MR. M. R)	(1期) 1歳～2歳未満	〃	971	11,776,109
	(2期) 5歳～7歳未満で小学校就学前1年間	〃	1,107	11,847,058
	(3期) 中学1年生相当	〃	1,079	10,717,707
	(4期) 高校3年生相当	〃	1,127	11,203,092
B C G	生後直後～6か月未満	〃	1,022	9,125,691
季節性 インフルエンザ	65歳以上及び一定の疾患を持つ60～64歳	10～1月	17,678	44,422,000
B C G助成 (任意接種・ 扶助費)	生後6か月～12か月未満	通 年	5	43,388
新型 インフルエンザ	生活保護世帯・市民税非課税世帯	11月から	1,273	4,832,850
	課税世帯の中学3年まで(一部助成)	11月から	3,056	6,570,400
計			37,903	182,580,943

## ○ 健康増進事業関係

健康増進法に基づき、壮年期死亡の減少と介護予防の推進のため、生活習慣病予防を中心に次の諸事業を実施した。

### 1 健康相談事業 (事業費 579,537円)

区 分	実施場所等	回 数	延べ人数	備 考
総合成人健康相談	中央保健センター	14回	85人	
	市内各地域	56	429	小俣保健センター、ハートプラザみその、公民館等
重点健康相談	栄養相談	38	66	中央保健センター、二見老人福祉センター等
計		108	580	

### 2 健康診査事業 (事業費 236,007,199円)

がん検診では、肺がん、子宮がん、前立腺がんマーカー検査において、対象年齢を更に拡大し、多くの市民に受けやすい検診の機会を確保した。また、特定の年齢の女性に無料クーポン券を配布する国事業の女性特有のがん検診事業も合わせて実施をした。

区 分	実 施 機 関 等		計	金 額
	集 団	医 療 機 関		
健康増進法健康診査	—	186人	186人	1,344,930円
骨粗しょう症 検 診	腰椎 D E X A	—	95	2,744,720
	腰 椎 以 外	—	1,924	
胃がん検診	透 視	—	1,089	128,571,040
	内 視 鏡	—	9,539	
大腸がん検診	—	14,217	14,217	13,745,910
肺がん検診	X 線	559人	10,654	19,250,330
	X線 + 喀痰	15	730	
子宮がん検診（頸部）	—	4,562	5,034	25,686,560
子宮がん検診（頸部） （クーポン券対象者）	—	1,261	1,261	8,159,190
乳がん検診	1,606	2,292	3,898	14,683,380
乳がん検診（クーポン券対象者）	—	1,537	1,537	7,746,480
前立腺がんマーカー検査	—	2,185	2,185	4,999,300
計	2,652	50,271	52,923	226,931,840

### 3 歯周疾患検診事業

歯の喪失を予防するため、40～50歳、55歳、60歳、65歳、70歳の市民を対象に、歯周疾患検診を実施した。（事業費 5,286,700円）

区 分	実施時期	実 施 機 関	延べ人数
歯周疾患検診	6～10月	市内及び度会郡内の実施 歯科医院	1,825人
高齢者口腔総合健康診査	通年	〃	137
計			1,962

### 4 訪問指導事業（事業費 301,272円）

区 分	訪 問 指 導 人 数	
	実 人 数	延 べ 人 数
がん要精検未受診者	215人	220人
閉じこもり予防	25	40
介護家族者	8	13
寝たきり者	1	2
認知症	6	6
精神疾患・その他	28	44
計	283	325

5 機能訓練事業 (事業費 131,250 円)

区 分	実施場所	回 数	延 べ 人 数
リハビリ教室	中央保健センター	12 回	34 人

○ 特定保健指導関係

「高齢者の医療の確保に関する法律」に基づき実施した。

40 歳から 74 歳の伊勢市国民健康保険加入者を対象に行う、メタボリックシンドロームに着目した健康診査の結果、特定保健指導の対象者となった者に対し、「動機付け支援」と「積極的支援」の保健指導を行った。

区 分	実施場所	回 数	延べ人数	備 考
動機付け支援	来 所 中央保健センター 二見老人福祉センター 小俣保健センター ハートプラザみその	68 回	279 人	保健師、看護師による生活改善指導 初回支援の 6 か月後に評価を実施
	家庭訪問	各 家 庭	294	
積極的支援	来 電 所 話 中央保健センター	64	61	医師講演・保健師、栄養士による生活改善指導 3 か月以上継続的に支援し、初回支援の 6 か月後に評価を実施
	家庭訪問	各 家 庭	2	
計		428	745	平成 21 年度 保健指導実施率 37.3%

○ 介護予防関係

介護保険法に基づき、高齢者の健康づくりと介護予防の推進のため、次の諸事業を実施した。

1 一般高齢者施策事業

65 歳以上の全ての高齢者を対象に、地域の高齢者が自ら活動に参加し、介護予防に向けた取組みが主体的に実施されるよう、介護予防に関する知識の普及・啓発を行ったり、地域における自発的な介護予防に資する活動の育成や支援を行った。

(1) 介護予防普及啓発事業 (事業費 1,825,826 円)

区 分	実施場所	回 数	延 べ 人 数	備 考
介 護 予 防 講 座	中央保健センター	10 回	155 人	
すこやか教室	市内各地域	48	1,122	老人クラブ対象
脳活性化教室(2日間)	中央保健センター	4	106	
介 護 予 防 講 演 会	中央保健センター	4	258	
通所型介護予防事業	中央保健センター	48	593	転倒骨折予防教室 254 人 脳活性化教室 295 人 口腔訓練教室 34 人 介護予防教室 10 人

在介による 転倒骨折予防教室	市内各地域	59回	889人	市内9在宅介護支援センターに委託
訪問指導	各家庭	49	79	介護予防のための生活改善指導等
地域や団体からの要請による介護予防等	中央保健センター 市内各地域	20	716	
計		242	3,918	

(2) 地域介護予防活動支援事業(事業費 57,073円)

区分	対象者	回数	延べ人数	サークル数
いきいきクラブ	教室終了者等	16回	538人	
脳活性化OB会	教室修了者	108	1,272	8(センター6、老人クラブ2)
転倒骨折予防教室OB会	教室修了者	233	2,204	8(センター4、老人クラブ4)
お達者クラブOB会	教室修了者	33	310	
計		390	4,324	

2 特定高齢者施策事業

生活機能が低下し要介護状態等となるおそれのある65歳以上の者(特定高齢者)を早期に発見し、要介護状態等を予防し、活動的で生きがいのある生活や人生を送ることができるよう支援を行った。

(1) 特定高齢者把握事業

要介護状態等となるおそれのある65歳以上の者(特定高齢者)を早期に発見するため、生活機能評価を行った。(事業費 88,174,474円)

実施時期	実施機関	受診者数	特定高齢者決定者数
8~3月	三重県内の医療機関	14,778人	869人

(2) 通所型介護予防事業(事業費 1,858,617円)

区分	場所	回数	延べ人数
転倒骨折予防教室	中央保健センター	107回	384人
脳活性化教室	〃	61	201
栄養改善教室	中央保健センター	5	7
口腔訓練教室	〃	31	44
介護予防教室	各総合支所	22	41
計		226	677

(3) 訪問型介護予防事業（事業費 2,583 円）

区 分	訪問指導人員	
	実人数	延べ人数
特定高齢者	4 人	7 人
家族	2	3
計	6	10

○ 母子保健関係

母子保健法に基づき、乳幼児の健全育成と虐待予防及び子育て支援を図るため、次の諸事業を実施した。

1 健康教育事業

(1) 子育て支援教室事業（事業費 558,147 円）

区 分	対 象 者	実 施 場 所	回 数	延べ人数	備 考
パパとママの教室	妊婦及びその夫	中央保健センター	4 回	201 人	妊娠中・出産後の健康管理及び沐浴実習、妊婦模擬体験、絵本の読み聞かせ体験
離乳食教室	乳児を持つ保護者	中央保健センター 二見老人福祉センター 小俣保健センター ハートプラザみその	15	357	離乳食の講話 試食
要請による育児教室等	保護者	子育て支援センター 他	29	587	子育て支援センター 育児講座 他
育児サークル	子育て中の保護者	中央保健センター（2サークル） 二見老人福祉センター 地域コミュニティセンター（2サークル）	67	822	子どもの遊び場・親の話せる場の提供、自主活動の支援
計			115	1,967	

(2) 発達支援教室事業（事業費 1,747,468 円）

区 分	対 象 者	実 施 場 所	回 数	延べ人数	備 考
発達支援教室	幼児と保護者	小俣保健センター	24 回	366 人	1 歳 6 か月児健康診査、3 歳児健康診査後のフォロー
親子教室アイアイ	〃	中央保健センター	12	393	広汎性発達障害児早期発見、早期療育事業
計			36	759	

## (3) 幼児歯科保健事業（事業費 2,863,785 円）

区 分	対 象 者	実 施 場 所	回 数	延べ人数	備 考
むし歯バイバイ教室	2歳代の幼児と保護者	中央保健センター 小保保健センター	23回	875人	歯科医師講話、ブラッシング指導、歯科健診、フッ化物塗布 他
3歳児フッ化物塗布教室	3歳代の幼児と保護者	〃	12	674	
歯科保健教室	幼稚園・保育園児と保護者	幼稚園 保育園	4	299	歯科医師・歯科衛生士講話、ブラッシング実習
計			39	1,848	

## 2 子育て相談事業（事業費 736,058 円）

区 分	対 象 者	実 施 場 所	回 数	延べ人数	備 考
妊婦相談	妊 婦	中央保健センター 市内各地域	随時	626人	妊娠中の健康管理
子育て相談	乳幼児	市内各地域 子育て支援センター	64回	554	発育、発達、育児相談
		中央保健センター 二見老人福祉センター 小保保健センター ハートプラザみその	48	2,334	
栄養相談	〃	〃	48	525	栄養の個別相談
電話育児相談	乳幼児を持つ家族	〃	随時	336	育児の悩み等の相談
計				4,375	

## 3 健康診査事業（事業費 99,040,689 円）

区 分	対 象 者	実 施 場 所	回数等	延べ人数	金 額	備 考
妊婦一般健康診査	妊 婦	県内各医療機関	随時	12,979人	円 86,757,950	妊娠中に14回健康診査を実施
乳児一般健康診査	4か月・10か月の乳児	〃	〃	1,891		乳児期に2回健康診査を実施
1歳6か月児健康診査	1歳6か月～1歳8か月児	中央保健センター	36回	1,045	4,379,696	発育発達チェック 小児科・歯科医師の診察 他
3歳児健康診査	3歳6か月～3歳8か月児	〃	36	985	6,761,216	発育発達チェック 小児科・耳鼻科・眼科・歯科医師の診察 他
妊婦歯科健康診査	妊 婦	市内及び度会郡内の実施歯科医院	随時	421	1,141,827	平成12年度より実施 妊娠中に1回歯科健康診査を実施
計				17,321	99,040,689	

## 4 新生児等訪問指導事業

増加する児童虐待を予防するため、不安の多い新生児期の訪問指導を実施し、育児不安の解消を図るとともに、ハイリスク家庭への支援の充実を図った。（事業費 862,004 円）



区 分	対 象 者	人 数	備 考
妊 産 婦 訪 問 指 導	健診の要指導者及び 支援が必要な妊産婦	907 人	妊娠中・出産後の生活指導
赤 ち ゃ ん 訪 問 ( 新 生 児 訪 問 指 導 )	生後 2 か月頃の乳児	921	新生児の育児における生活指導、 育児相談、身体測定等
乳 幼 児 訪 問 指 導	健康診査未受診者 及び要経過観察児	556	家庭の事情に応じた保健指導
計		2,384	

#### 5 母子健康手帳交付事業（事業費 466,624 円）

妊娠届の提出件数	交 付 場 所
1,084 件	中央保健センター、各総合支所、各支所

#### 6 不妊治療費助成事業

不妊治療を行っている夫婦に対し、治療にかかる費用の一部を助成することにより経済的な負担の軽減を図り、少子化対策に寄与した。（事業費 6,686,812 円）

助 成 件 数	申 請 場 所
104 件	中央保健センター、 各総合支所

## ○ 休日・夜間応急診療所運営関係

平日夜間や休日における急病の発生に対処するため、休日・夜間応急診療所を開所し、応急診療を行った。

#### 1 医科診療所運営事業（事業費 90,641,238 円）

診療科目	区 分	開所日数	受 診 者 数			
			市 内	市外(県内)	県 外	計
昼	内 科	70 日	2,088 人	518 人	104 人	2,710 人
	小 児 科		2,348	756	137	3,241
	小 計		4,436	1,274	241	5,951
夜	内 科	365	2,749	792	106	3,647
	小 児 科		2,515	897	140	3,552
	小 計		5,264	1,689	246	7,199
計		435	9,700	2,963	487	13,150

#### 2 歯科診療所運営事業（事業費 6,205,821 円）

開所日数	受 診 者 数			
	市 内	市外(県内)	県 外	計
70 日	263 人	80 人	16 人	359 人

# 医 療 保 険 課

## ○ 国民健康保険関係

### 1 国民健康保険運営協議会

国民健康保険法第 11 条の規定に基づき設置した国民健康保険運営協議会を、次のとおり開催した。

(1) 開催回数 2 回 (8 月 20 日、2 月 18 日)

(2) 内容

8 月 20 日協議事項

- ・平成 20 年度国民健康保険特別会計決算見込について

2 月 18 日協議事項

- ・平成 21 年度国民健康保険特別会計最終補正予算 (案) について
- ・平成 22 年度国民健康保険特別会計当初予算 (案) について
- ・条例改正 (案) について

### 2 国民健康保険加入世帯及び被保険者数 (月平均)

世帯数	被保険者数	一般被保険者		退職被保険者等	
		人数	構成比	人数	構成比
世帯 20,861	人 36,277	人 34,672	% 95.6	人 1,605	% 4.4

### 3 給付状況

種 別	件 数	金 額	摘 要
一般被保険者療養給付費	件 513,887	千円 7,587,711	(1) 診療延べ日数 797,435 日 (2) 費用額 10,356,550,047 円 (3) 一人当たり費用額 298,701 円 (4) 一人当たり保険者負担額 218,843 円 (5) 一人当たり受診回数 14.8 回
退職被保険者等療養給付費	28,614	398,714	(1) 診療延べ日数 42,468 日 (2) 費用額 570,190,737 円 (3) 一人当たり費用額 355,259 円 (4) 一人当たり保険者負担額 248,420 円 (5) 一人当たり受診回数 17.8 回
一般被保険者療養費	9,184	67,752	

退職被保険者等療養費	542	3,013	
一般被保険者高額療養費	34,228	853,154	
退職被保険者等高額療養費	649	51,784	
出産育児一時金	116	45,564	
葬祭費	215	10,750	50,000円×215件

#### 4 国民健康保険料（税）収納状況

区分			調定額 (円)	収入額 (円)	不納欠損額 (円)	還付未済額 (円)	収入未済額 (円)	収納率 (%)		
保 險 料	一 般 被 保 險 者	現年	医療	2,534,805,136	2,278,627,904	-	365,672	256,542,904	89.9	
			後期	748,852,909	672,841,707	-	74,757	76,085,959	89.8	
			介護	241,123,537	207,879,282	-	18,471	33,262,726	86.2	
		滞 納 繰 越	医療	479,139,538	107,463,530	119,273,238	-	252,402,770	22.4	
			後期	54,128,653	14,961,668	-	-	39,166,985	27.6	
			介護	62,853,216	13,816,084	16,376,228	-	32,660,904	22.0	
		小計			4,120,902,989	3,295,590,175	135,649,466	458,900	690,122,248	80.0
		退 職 被 保 險 者 等	現年	医療	153,059,020	148,038,949	-	6,682	5,026,753	96.7
				後期	45,547,835	44,174,299	-	1,613	1,375,149	97.0
	介護			35,898,563	34,758,809	-	1,705	1,141,459	96.8	
	滞 納 繰 越		医療	20,780,884	6,952,827	5,766,797	-	8,061,260	33.5	
			後期	1,386,536	572,740	-	-	813,796	41.3	
			介護	2,895,379	1,014,287	638,906	-	1,242,186	35.0	
	小計			259,568,217	235,511,911	6,405,703	10,000	17,660,603	90.7	
合 計			4,380,471,206	3,531,102,086	142,055,169	468,900	707,782,851	80.6		
保 險 税	一 般	滞 納 繰 越	医療	46,625,436	3,905,631	8,045,156	-	34,674,649	8.4	
			介護	4,765,474	465,072	716,593	-	3,583,809	9.8	
		小計			51,390,910	4,370,703	8,761,749	-	38,258,458	8.5
	退 職	滞 納 繰 越	医療	1,650,026	115,201	330,697	-	1,204,128	7.0	
			介護	130,680	5,799	23,700	-	101,181	4.4	
		小計			1,780,706	121,000	354,397	-	1,305,309	6.8
	合 計			53,171,616	4,491,703	9,116,146	-	39,563,767	8.4	

保険料・保険税	一般被保険者	現年	医療	2,534,805,136	2,278,627,904	-	365,672	256,542,904	89.9
			後期	748,852,909	672,841,707	-	74,757	76,085,959	89.8
			介護	241,123,537	207,879,282	-	18,471	33,262,726	86.2
		滞納繰越	医療	525,764,974	111,369,161	127,318,394	-	287,077,419	21.2
			後期	54,128,653	14,961,668	-	-	39,166,985	27.6
			介護	67,618,690	14,281,156	17,092,821	-	36,244,713	21.1
	小計			4,172,293,899	3,299,960,878	144,411,215	458,900	728,380,706	79.1
	退職被保険者等	現年	医療	153,059,020	148,038,949	-	6,682	5,026,753	96.7
			後期	45,547,835	44,174,299	-	1,613	1,375,149	97.0
			介護	35,898,563	34,758,809	-	1,705	1,141,459	96.8
		滞納繰越	医療	22,430,910	7,068,028	6,097,494	-	9,265,388	31.5
			後期	1,386,536	572,740	-	-	813,796	41.3
			介護	3,026,059	1,020,086	662,606	-	1,343,367	33.7
	小計			261,348,923	235,632,911	6,760,100	10,000	18,965,912	90.2
	合計			4,433,642,822	3,535,593,789	151,171,315	468,900	747,346,618	79.7
保険料・保険税 現年計（再掲）			3,759,287,000	3,386,320,950	-	468,900	373,434,950	90.1	
保険料・保険税 滞納計（再掲）			674,355,822	149,272,839	151,171,315	-	373,911,668	22.1	

## 5 国民健康保険収納区分

区 分	収 納 額	収 納 割 合
口 座 振 替	2,061,100,000 円	60.9%
臨 戸 徴 収 等	599,036,820	17.7
金 融 機 関 等	726,184,130	21.4
計	3,386,320,950	100.0

## 6 国民健康保険料滞納処分（差押）状況

区 分	不 動 産		電 話		債 権		計	
	件数	金 額	件数	金 額	件数	金 額	件数	金 額
3 月 末	件 18	円 3,707,000	件 3	円 1,059,580	件 0	円 0	件 21	円 4,766,580

## 7 国民健康保険財政調整基金

旧年度繰越分	574,646,552 円
本年度中増減高	200,546,424 円
うち 歳計剰余金積立	200,000,000 円
利子積立	546,424 円
取崩し	0 円
本年度末現在高	775,192,976 円

## 8 平成 21 年度国民健康保険特別会計の決算見込みについて

歳入合計	13,573,166,557 円
歳出合計	13,015,082,440 円
歳入歳出差引額	558,084,117 円
基金積立金	280,000,000 円

## 9 保健事業

### (1) 特定健康診査

メタボリックシンドローム等の早期発見を図る目的で、本年度から各医療保険者に義務付けられた健康診査を、40～74 歳の国民健康保険被保険者 27,556 人を対象に実施し、14,061 人が受診(受診率 51.0%)した。

### (2) 健康づくり推進事業委託

成人病などの早期発見、早期治療を図るため、健康課実施の「健康診査事業」を受診した国民健康保険被保険者、延べ 21,676 人への負担を行った。

検診内容は、子宮がん検診・胃がん検診・肺がん検診・前立腺がんマーカー検査などを行った。

### (3) 水中運動事業

成人病や介護予防を図るため、35 歳以上の国民健康保険被保険者を対象として、市内スイミングスクールに委託し、水中運動事業を実施した。延べ 715 人の参加があった。

### (4) 医療費通知

医療を受けた被保険者に対し、健康の保持・増進についての自覚を促すとともに、医療に対する認識をより深めてもらうため、年 6 回延べ 98,484 通の医療費の通知を行った。

### (5) その他の保健事業

三重県国民健康保険団体連合会が実施する保健事業について、その事業費の一部を負担した。

10 第三者行為（交通事故等）等による診療費の求償状況

一般	54 件	20,024,619 円
退職	3 件	220,436 円
計	57 件	20,245,055 円

○ 福祉医療費関係

1 障害者医療費の助成

障がい者の保健の向上と福祉の増進を図るため、身体障害者手帳 1 級から 4 級または療育手帳 A 1 から B 1 の方の医療費及び精神障害者保健福祉手帳 1 級の方の通院医療費を次のとおり助成した。

(1) 障害者医療費支給事業

当 初 有資格者 (4/1)	資格の異動			医 療 費 等 の 助 成			証明書料の助成		郵送料
	資 格 認定者	資 格 喪失者	3 月末 有資格者	延べ 人数	延べ 件数	金 額	延べ 件数	金 額	金 額
人 2,280	人 307	人 308	人 2,279	人 19,957	件 50,209	円 229,310,785	件 44,661	円 8,932,200	円 583,170

(2) 65 歳以上障害者医療費支給事業

障害者医療費の助成対象である、後期高齢者医療被保険者の医療費を次のとおり助成した。

当 初 有資格者 (4/1)	資格の異動			医 療 費 等 の 助 成		
	資 格 認定者	資 格 喪失者	3 月末 有資格者	延べ人数	延べ件数	金 額
人 1,972	人 340	人 246	人 2,066	人 21,354	件 56,324	円 156,274,901

2 乳幼児医療費支給事業

乳幼児等の保健の向上と福祉の増進を図るため、小学校入学前までの入院、通院にかかる医療費及び小学生の入院にかかる医療費を次のとおり助成した。

当 初 有資格者 (4/1)	資格の異動			医 療 費 等 の 助 成			証明書料の助成	
	資 格 認定者	資 格 喪失者	3 月末 有資格者	延べ人数	延べ件数	金 額	延べ 件 数	金 額
人 6,760	人 1,417	人 1,480	人 6,697	人 43,291	件 87,082	円 149,009,504	件 84,634	円 16,926,800

3 一人親家庭等医療費支給事業

満 18 歳年度末までの児童を養育する母（父）子家庭の母（父）及びその児童並びに父母のいない満 18 歳年度末までの児童の保健の向上と福祉の増進を図るため、医療費を次のとおり助成した。

当 初 有資格者 (4/1)	資格の異動			医 療 費 等 の 助 成			証 明 書 料 の 助 成	
	資 格 認 定 者	資 格 喪 失 者	3 月 末 有 資 格 者	延 べ 人 数	延 べ 件 数	金 額	延 べ 件 数	金 額
人 3,040	人 465	人 436	人 3,069	人 14,836	件 28,298	円 69,365,484	件 27,337	円 5,467,400

#### 4 寡婦医療費支給事業

寡婦(60歳から69歳までの女子で、配偶者と死別し、かつて20歳未満の者を扶養していた者。ただし、現在、婚姻している者を除く。)の保健の向上と福祉の増進を図るため、医療費の一部を次のとおり助成した。

当 初 有資格者 (4/1)	資格の異動			医 療 費 の 助 成			証 明 書 料 の 助 成	
	資 格 認 定 者	資 格 喪 失 者	3 月 末 有 資 格 者	延 べ 人 数	延 べ 件 数	金 額	延 べ 件 数	金 額
人 21	人 3	人 4	人 20	人 3	件 3	円 17,231	件 3	円 600

#### 5 地域医療協力費

市民の健康の向上及び地域医療への貢献を考慮し、医師会等に協力費を支払った。

伊勢地区医師会	25,700,000 円
伊勢地区歯科医師会	3,300,000 円
合 計	29,000,000 円

### ○ 老人保健医療関係

老人保健法の改正により、平成20年4月1日より後期高齢者医療制度が施行されている。改正前の平成20年3月31日までの診療分について、再審査等に伴う月遅れ請求額を支出し、返納金を収入した。

#### 1 医療給付の状況

##### (1) 現物給付

医療費支出額	1,673,828 円
返納金収入額	6,695,099 円

##### (2) 現金支給

高額医療費支給額	41,303 円
----------	----------

#### 2 第三者行為(交通事故等)による求償状況

1 件	1,018,482 円
-----	-------------

## ○ 後期高齢者医療制度関係

後期高齢者医療制度においては、各種届出や申請の受付等の窓口業務、保険料の徴収、制度についての相談への対応、広報等が市の業務とされており、保険者である三重県後期高齢者医療広域連合と連携し制度の運営にあたった。

### 1 被保険者数の状況

被保険者数	平成 21 年 3 月末	平成 22 年 3 月末	増 減
伊 勢 市	16,691 人	17,230 人	539 人
三重県広域連合全体	215,506	221,557	6,051

### 2 医療給付等の申請受付件数

区 分	件 数
高額療養費支給申請	1,850 件
療養費支給申請	823
葬祭費支給申請	936

### 3 後期高齢者医療保険料の収納状況

#### (1) 後期高齢者医療保険料収納状況（平成 22 年 5 月末現在）

区 分		調 定 額	収入済額	還付未済額	収入未済額	収納率
現年度	特別徴収	596,553,661 円	597,400,000 円	846,339 円	0 円	100.0%
	普通徴収	324,816,609	319,610,529	67,885	5,273,965	98.4
	計	921,370,270	917,010,529	914,224	5,273,965	99.4
滞納繰越		7,183,896	4,440,153	2,287	2,746,030	61.8
合 計		928,554,166	921,450,682	916,511	8,019,995	99.1

#### (2) 後期高齢者医療保険料収納区分（平成 22 年 5 月末現在）

区 分	収 納 額	収 納 割 合
特 別 徴 収	613,626,947 円	65.6%
口 座 振 替	217,136,914	23.2
臨 戸 徴 収	3,440,279	0.4
金 融 機 関 等	100,619,287	10.8
計	934,823,427	100.0

※収納額…還付前の額



## ○ 国民年金関係

### 1 適用事務

市民の年金受給権を確保し、老後の生活の安定を図るため、適用対象者を把握し、届出指導を実施した。

(単位：人)

区 分	年 度 当 初 被 保 険 者 数	年 度 末 被 保 険 者 数	増減数
第1号被保険者	19,516	19,162	△354
任意加入被保険者	297	275	△22
第3号被保険者	10,007	9,834	△173
計	29,820	29,271	△549

### 2 届出書等受理

被保険者並びに受給者に対する各種届出の指導を実施し、関係届書の受理、審査、進達を行った。

#### (1) 被保険者資格関係届等受理状況

区 分	件 数 (件)
資格取得・喪失・種別変更	2,748
住 所 変 更	2,891
法定免除・申請免除	6,453
そ の 他	499
計	12,591

#### (2) 裁定請求等受理状況

区 分	件 数 (件)
老齢・通算老齢・老齢基礎年金	36
障 害 基 礎 年 金	80
遺 族 基 礎 年 金	0
寡 婦 年 金	1
未 支 給 年 金	16
死 亡 一 時 金	23
現 況 届	1,051
特 別 障 害 給 付 金	2
そ の 他	18
計	1,227

(3) 老齡福祉年金関係届受理状況

区 分	件 数 (件)
未 支 給 年 金 請 求	2
現 況 届	15
失 権 届	1
そ の 他	0
計	18

# 介 護 保 険 課

## ○ 社会福祉関係

### 1 福祉有償運送普及促進支援事業

福祉有償運送を実施する特定非営利活動法人に対し、福祉車両の購入経費の一部を補助し、福祉有償運送の継続的な安全性・利便性を図り、要介護者・身体障がい者などの移動制約者に対する安全で安心な移動手段を確保した。

補助金交付件数 2件 補助金額 600,000円

## ○ 老人福祉関係

### 1 老人福祉施設等建設補助金

第4期伊勢市介護保険事業計画に基づき、法人が行う高齢者福祉施設の面的整備に対して補助を行った。また、消防法施行令の改正により一定の面積を超える小規模施設に対してスプリンクラー設置（平成24年3月期限）が義務付けられた。早期にスプリンクラーを設置することを推進し、利用者の安心・安全を確保するため市内に所在する未設置の小規模施設が行うスプリンクラー設置整備に対して補助を行った。

#### （1）面的整備

補助金交付先	施設名	施設所在地	定員	補助金額
有限会社くろべ	小規模多機能ホーム きたはま	村松町 4782-1	25人	(注) 円 26,250,000

(注) 平成22年度へ一部繰越

#### （2）スプリンクラー設置整備

補助金交付先	施設名	施設所在地	定員	補助金額
社会福祉法人 慈恵会	認知症対応型共同生 活介護事業所 正邦苑城田	中須町 402	27人	円 8,847,000
有限会社くろべ	小規模多機能ホーム みそのむら	御菌町高向 481	25	3,609,000
〃	グループホーム みそのむら	御菌町高向 481	18	4,699,000
有限会社エフ	グループホーム いせ	一之木 4丁目 11-31	18	5,094,000

株式会社森伸	ケアパートナー 森伸小俣	小俣町明野 1308	18 人	4,563,000 円
株式会社 ウェルフェア	小規模多機能ホーム ふたみ	二見町松下 1349-62	25	3,199,000
〃	グループホーム ふたみ	二見町松下 1349-64	18	4,740,000
有限会社 ウェルフェア三重	グループホーム くらたやま	黒瀬町 863-1	9	2,531,000
計	8 件	—	—	37,282,000

## ○ 介護保険料関係

### 1 介護保険料の収納

収納率の向上を図るため、口座振替制度の推進、滞納者への早期訪問、文書、電話による自主納付の勧奨、介護保険制度の周知及び理解促進に努めた。

また、第4期伊勢市介護保険事業計画期間の各年度の保険料年額等について、広報への掲載・ケーブルテレビ文字放送・納入通知書にパンフレットを同封するなどの方法により周知を行った。

#### (1) 介護保険加入第1号被保険者数

被保険者数	特別徴収		普通徴収	
	人数	構成比	人数	構成比
34,320 人	31,549 人	89.2 %	3,827 人	10.8 %

※ 被保険者数は平成22年3月末事業状況報告より

※ 徴収区分別人数は調定資料納付義務者数（併徴者を按分）より

#### (2) 介護保険料収納状況（平成22年5月末）

区分	調定額	収入済額	還付未済額	収納額	不納欠損額	収入未済額	収納率
現年度分	特別徴収 円	円	円	円	円	円	%
	1,588,021,020	1,589,252,620	1,231,600	1,588,021,020	—	△1,231,600	100.0
	普通徴収 163,619,460	144,666,930	22,350	144,644,580	—	18,952,530	88.4
小計	1,751,640,480	1,733,919,550	1,253,950	1,732,665,600	—	17,720,930	98.9
滞納繰越分	特別徴収 0	0	0	0	—	0	—
	普通徴収 31,499,700	7,730,090	0	7,730,090	6,614,160	17,155,450	24.5
	小計	31,499,700	7,730,090	0	7,730,090	6,614,160	17,155,450
合計	1,783,140,180	1,741,649,640	1,253,950	1,740,395,690	6,614,160	34,876,380	97.6

(3) 介護保険料収入区分

区 分	収入額	収入割合
口 座 振 替	円 64,401,474	% 3.7
訪 問 徴 収 等	32,496,860	1.9
金 融 機 関 等	55,498,686	3.2
特 別 徴 収 分	1,589,252,620	91.2
計	1,741,649,640	100.0

○ 介護認定関係

1 申請及び認定状況

介護保険法に基づく要介護等認定申請件数及び要介護等認定者数は、次のとおりである。

(1) 要介護等認定申請件数

新規申請	更新申請	区分変更申請	小 計	転入申請	合 計
件	件	件	件	件	件
1,675	4,940	761	7,376	47	7,423

(平成21年4月～平成22年3月)

(2) 要介護等認定者数

要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
人	人	人	人	人	人	人	人
611	701	1,250	1,056	1,110	880	707	6,315

(平成22年3月末現在)

2 介護認定審査会の状況

介護保険法及び伊勢市介護保険条例に基づき、伊勢市介護認定審査会を設置し、要介護認定等に係る審査判定業務を行った。

(1) 委員数 68人 (17合議体・1合議体4人で構成)

(2) 委員構成 医療関係者 43人

(医師24人、歯科医師6人、薬剤師3人、看護師5人、理学療法士2人、柔道  
整復師2人、管理栄養士1人)

福祉関係者 19人

保健関係者 6人

(3) 開催回数 204回

(4) 判定件数 ※申請件数との相違は、申請取下げ、22年度への持越し等による。

非該当	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
件	件	件	件	件	件	件	件	件
87	1,108	991	1,706	1,238	749	763	642	7,284

(平成21年4月～平成22年3月)

### 3 認定調査の状況

介護保険法に基づき、要介護等認定申請に係る被保険者の訪問調査を実施した。

(平成21年4月～平成22年3月)

(1) 調査件数 7,356件 (※申請件数との相違は、再調査、翌年度への持越し等による。)

内訳 市職員によるもの 6,989件

委託 (居宅介護支援事業者等) によるもの 367件

(2) 調査員数 16人 (嘱託職員11人、非常勤職員5人 ※平成22年3月末現在)

## ○ 介護給付関係

### 1 指導監査

介護サービスの質の確保及び保険給付の適正化を図り、もって介護保険事業の健全な運営を図るため、地域密着型サービス事業者に対し指導監査を実施した。

実地指導 2回

内訳 小規模多機能型居宅介護 1回

(介護予防) 認知症対応型通所介護 1回

営利法人監査 2回

内訳 (介護予防) 認知症対応型共同生活介護 1回

(介護予防) 小規模多機能型居宅介護 1回

### 2 伊勢市介護保険推進協議会の開催

本市における介護保険事業について、市民等から意見を聴き円滑な運営を図るとともに、「伊勢市老人福祉計画・介護保険事業計画」の策定にあたり、伊勢市介護保険推進協議会を開催した。

委員数人 20人

委員構成 学識経験者、保健・医療関係者 (3人)、自治会代表 (4人)、民生委員代表 (2人)、老人クラブ代表、介護保険施設代表、居宅サービス事業者代表 (3人)、障害者団体代表、介護保険被保険者代表 (4人)

開催実績 3回

### 3 介護給付費通知書の発送

介護保険の在宅サービス利用者に対して、過去3ヶ月間に利用したサービスの内容や保険給付額を記載した介護給付費通知書を発送した。利用者がどのようなサービスを利用したか確認できることにより事業所の不正請求の予防となり、また、保険給付額や自己負担額を知らせることにより適正なサービス利用を促した。

## 対象サービス

### 介護保険の在宅サービス

(特別養護老人ホーム、介護老人保健施設、介護療養型医療施設及び特定施設入居者生活介護、認知症対応型共同生活介護(グループホーム)は、対象外)

## 発送実績

発送日	発送件数	利用対象月
21. 9. 28	3,501 件	21. 4. 1～21. 6. 30利用分
21. 12. 21	3,541	21. 7. 1～21. 9. 30利用分
22. 3. 24	3,640	21. 10. 1～21. 12. 31利用分

## 4 保険給付

介護保険法に基づき、要介護(要支援)被保険者に対して次のとおり保険給付を行った。

### (1) 居宅介護(介護予防)サービス月別受給者数

	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
4月	171 人	335 人	795 人	731 人	731 人	417 人	226 人	3,406 人
5月	176	342	802	750	728	429	232	3,459
6月	182	341	797	735	718	428	234	3,435
7月	188	349	797	726	722	422	233	3,437
8月	202	353	807	738	718	426	238	3,482
9月	204	357	816	749	718	431	241	3,516
10月	211	372	819	750	717	431	246	3,546
11月	207	368	828	747	709	440	248	3,547
12月	227	371	849	756	706	436	258	3,603
1月	235	374	821	772	695	436	253	3,586
2月	244	377	830	774	676	441	256	3,598
3月	251	387	822	768	662	447	259	3,596
合計	2,498	4,326	9,783	8,996	8,500	5,184	2,924	42,211
月平均	208.2	360.5	815.3	749.7	708.3	432.0	243.7	3,517.6

(2) 地域密着型（介護予防）サービス月別受給者数

	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
4月	0人	2人	48人	61人	103人	61人	32人	307人
5月	0	2	52	63	104	67	30	318
6月	0	1	51	67	104	65	34	322
7月	0	3	56	65	105	64	36	329
8月	0	4	57	65	106	66	35	333
9月	0	4	58	67	102	69	37	337
10月	0	3	54	69	99	66	43	334
11月	0	5	60	70	101	68	44	348
12月	0	5	61	69	104	63	44	346
1月	0	6	58	69	103	65	46	347
2月	0	5	61	67	104	63	43	343
3月	0	5	58	60	104	67	42	336
合計	0	45	674	792	1,239	784	466	4,000
月平均	0.0	3.8	56.2	66.0	103.3	65.3	38.8	333.3

(3) 施設介護サービス月別受給者数

	介護老人 福祉施設	介護老人 保健施設	介護療養型 医療施設	計
4月	530人	455人	17人	1,002人
5月	522	459	18	999
6月	527	455	16	998
7月	531	456	15	1,002
8月	547	448	15	1,010
9月	552	448	15	1,015
10月	552	452	14	1,018
11月	555	457	15	1,027
12月	553	461	15	1,029
1月	540	468	15	1,023
2月	546	462	15	1,023



3月	人 545	人 467	人 14	人 1,026
合計	6,500	5,488	184	12,172
月平均	541.7	457.3	15.3	1,014.3

(4) 保険給付費

経 費	件 数	金 額	摘 要
居宅介護(介護予防)サービス給付費	件 85,131	円 4,079,170,321	
(内訳)			
訪問介護	15,093	717,715,762	
訪問入浴介護	964	48,028,779	
訪問看護	6,328	266,434,632	
訪問リハビリテーション	846	19,825,029	
通所介護	23,796	1,491,734,488	
通所リハビリテーション	5,024	298,662,515	
福祉用具貸与	18,462	229,288,538	
短期入所	7,736	661,972,595	
居宅療養管理指導	4,926	31,424,670	
特定施設入居者生活介護	1,956	314,083,313	
特定診療費	0	0	
地域密着型介護(介護予防)サービス給付費	4,150	712,360,674	
(内訳)	1,758	421,026,579	
認知症対応型共同生活介護	233	52,236,648	
地域密着型介護老人福祉施設	1,025	85,910,427	
認知症対応型通所介護	870	150,244,110	
小規模多機能型居宅介護	264	2,942,910	
夜間対応型訪問介護			
施設介護サービス給付費	12,489	3,000,301,110	
(内訳)			
介護老人福祉施設	6,556	1,558,791,471	
介護老人保健施設	5,551	1,378,664,745	
介護療養型医療施設	190	58,476,699	
特定診療費	190	4,366,575	
食事費用額	2	1,620	

居宅介護（介護予防）福祉用具購入費	件 640	円 16,011,605	腰掛便座 287件 特殊尿器 1件 入浴補助具 525件 簡易浴槽 0件 リフトつり具 2件 (※複数購入者有)
居宅介護（介護予防）住宅改修費	582	60,940,140	手すり取付け 513件 段差解消 247件 通路面変更 49件 扉等取替 54件 便器取替 41件 (※複数工事者有)
居宅介護（介護予防）サービス計画給付費	39,351	447,443,555	
高額介護（介護予防）サービス費	14,526	132,589,782	
特定入所者介護（介護予防）サービス費	11,669	377,086,169	

※ 保険給付費は、（１）、（２）及び（３）に掲げる受給者のうち、平成20年3月から平成21年2月までの受給者に係るものである。（現物給付分は3月から翌年2月分までのサービス提供に係る保険給付を一つの会計年度として取り扱うこと等による。）

## 5 家族介護交流事業

介護保険において要介護3、4又は5に認定された方を在宅にて介護している家族を対象に、日帰り旅行等を活用した介護者相互の交流会を行い、介護から一時的に解放されることで心身の元気回復を図った。

第一回（平成21年6月9日実施） 伊勢かぐらばリゾート「千の柱」

参加者 41人

支出額 105,088円

第二回（平成21年10月19日実施） 茶話会 伊勢市福祉健康センター

参加者 24人

支出額 30,094円

第三回（平成22年3月3日実施） おひなさまめぐりin二見

参加者 30人

支出額 20,296円

## 6 介護用品支給事業

介護保険において要介護4又は5と認定され、かつ在宅にて介護を受けている者（入院中も含む）のうち、市民税非課税世帯に該当する者に対して、介護に必要な紙おむつ・尿取りパッド・紙パンツ・清拭剤・ドライシャンプーの購入費用について、その一部をクーポン券の支給により補助し、高齢者福祉の更なる向上と介護負担の軽減を図った。

支給者数 393人

支給枚数 6,570枚

利用枚数 5,456枚

事業費 16,601,962円（うち事務費 233,962円）

## 7 家族介護慰労事業

在宅の高齢者等を介護する家族に対して、家族介護等慰労金を支給することにより、その家族の精神的及び経済的負担の軽減を図った。

対象者数 1人

支給金額 100,000円

## 8 住宅改修指導事業

介護保険の要介護又は要支援の認定者で、居宅介護支援の提供を受けていない者が、適切な住宅改修がおこなえるよう、住宅改修費の支給申請に必要な「理由書」の作成者に対し助成を行った。

対象者 居宅介護支援事業所等

作成件数 196件

助成金額 392,000円

## 9 介護相談員派遣事業

介護保険サービス利用者の疑問や不満、不安の解消を図るとともに事業所におけるサービスの質的な向上を図るため、介護相談員を派遣し、利用者の相談業務を行った。

また、活動及び相談内容を載せた介護相談員だよりを発行し、市内介護サービス事業所へ送付した。

介護相談員数 8人

派遣先事業所 13法人38事業所

## 10 介護保険制度の周知

介護保険制度や事業計画について、パンフレットの配布・広報への掲載等により周知活動を行った。また、要請のあった団体に対し説明会を実施した。

### (1) パンフレット配布

「介護保険」、「介護保険のてびき」、「特定福祉用具の購入をお考えの方へ」、「介護保険の住宅改修」、「介護保険料だより」を作成し、窓口での配布を行った。

### (2) 説明会等の実施

- ・要請のあった団体（民協等）に対し、説明会を実施した。（3回）
- ・人材育成カレッジにて、市職員に対し介護保険制度の講習を実施した。（1回）

### (3) 広報

連載企画（全9回）として「教えて！介護保険」を広報いせ6～3月号（2月号を除く）に掲載した。また、保険料や税控除に関するお知らせなどを掲載した。（7回）

### (4) ケーブルテレビ

確定申告に利用できる税控除のお知らせや保険料の納入通知書・納入済額通知書の送付、及び激変緩和措置の延長実施について文字放送を行った。（7回）

### (5) ホームページ

平成21年度の介護保険制度改正に伴い、ホームページの内容の修正を行った。

# 生活支援課

## ○ 社会福祉関係

### 1 行旅者の一時扶助取扱状況

行旅病人等一時扶助 43件 26,270円

### 2 災害見舞金支給状況（「伊勢市災害見舞金支出要綱」による。災害救助法の適用を受けるに至らない災害罹災者対象）

火事全焼 3件 150,000円

火事半焼、半壊 3件 90,000円

床上浸水 8件 160,000円

死亡 1件 70,000円

### 3 民生委員・児童委員活動事業

#### (1) 伊勢市民生委員児童委員協議会連合会

##### ア 定数

	定数	現在員（H22. 3. 31）
民生委員・児童委員 （うち主任児童委員）	296名 (28名)	287名（男118名 女169名） (28名（男5名 女23名））

##### イ 活動状況

12地区の民生委員・児童委員協議会相互の情報収集と親睦を図るため、伊勢市民生委員児童委員協議会連合会の役員会を12回開催した。

4月13日 総会・平成21年度事業計画・予算等協議

5月11日 総会・前期研修会等協議

6月8日 各種研修会参加予定等協議

7月13日 専門研修会・理事視察研修会等協議

8月10日 後期研修会等協議

9月14日 個人情報管理、社協実施事業等協議

10月13日 理事視察研修会実施内容、広報活動等協議

11月12日 理事視察研修会実施内容、各種審議会委員選考等協議

12月18日 各種審議会委員選考等協議

1月12日 災害時一人も見逃さない運動取り組み等協議

2月8日 連合会役員構成、22年度総会・研修会等協議

3月8日 22年度事業計画、総会・研修会開催等協議

##### ウ 民生委員・児童委員の資質の向上を図るために民生委員・児童委員全体の研修を行った。

5月21日 「認知症サポーター養成講座」（前期全体研修）

講師 山川 伸隆 氏（いせ山川クリニック院長）

11月12日 「精神疾患の基礎知識」(後期全体研修)

講師 藤井 道美 氏

(三重県立こころの医療センター 作業療法士)

エ 地区民生委員協議会

協議会名	委員数	担当地区
五十鈴地区	31名	進修・修道・四郷
倉田山地区	27	明倫・有緝
厚生地区	22	厚生
宮川地区	26	早修・中島
港地区	30	神社・大湊・浜郷
城田地区	14	城田
豊浜地区	14	豊浜
北浜地区	11	北浜
南部地区	24	宮本・沼木
二見地区	22	二見町
小俣地区	44	小俣町
御菌地区	22	御菌町
計	287	—

(2) 民生委員推薦会

民生委員推薦会委員の任期満了に伴い、民生委員推薦会を1回開催した。

民生委員・児童委員の任期途中における退任、また、平成19年度の一斉改選の追加候補者の審査・推薦については、本来民生委員推薦会を開催し、新たな民生委員・児童委員の推薦を行うべきところであるが、事務の迅速及び簡素化により持ち回りで審査を行った。(持ち回り審査6回)

4 保護司関係

(1) 定数 43名

H21. 4. 1 在職人員	H21. 4. 1～H22. 3. 31の異動		H22. 3. 31 在職人員
	新任	退任	
37名	5名	1名	41名

(2) 活動状況

ア 罪を犯した人たちの更生を援助するとともに、犯罪予防の啓発に努め、地域社会から犯罪の根絶を図った。

イ 保護司としての使命の自覚、人格識見の向上並びに職務遂行上必要な知識及び技術の修得のため、津保護観察所の指導を得て4回の定期研修会を、更に自主的な研修事業として研修視察及びブロック研修会を行った。

(定期研修)

6月26日	第1期統一研修会	講師	津保護観察所保護観察官	杉森由美子 氏
9月25日	第2期統一研修会	講師	同	上
12月17日	第3期統一研修会	講師	同	上
3月11日	第4期統一研修会	講師	同	上

(研修視察)

10月2日 京都医療少年院

(自主研修)

1月22日 津地方裁判所 裁判傍聴、裁判所の見学等

3月4日 伊勢・志摩・度会保護区合同ブロック研修会

(3) 社会を明るくする運動

7月1日から7月31日までの間、伊勢警察署、伊勢市総連合自治会等関係団体との共催で、第59回社会を明るくする運動の実施に協力した。

7月1日～7月31日 厚生小学校前と宇治山田駅前の歩道橋に啓発宣伝用横断幕を設置

7月1日～7月31日 市役所本庁舎と各総合支所に啓発宣伝用懸垂幕を設置

7月1日～9月15日 社会を明るくする運動作文コンテスト実施

7月1日～9月25日 社会を明るくする運動書道コンクール実施

7月1日 宇治山田駅と明野駅周辺で街頭啓発

7月2日～7月7日 広報車による市内啓発

7月4日 高柳夜店で街頭啓発

7月7日 世義寺周辺で街頭啓発

7月8日～7月10日 市役所ロビーにおける社明運動パネル展示

7月10日 中学生非行防止啓発

市内の全中学生（4,352名）に非行防止啓発物質を配布

7月25日 市民の集い開催

講演「少年非行の防止のために一家庭における親の役割」

講師 宮川医療少年院 院長 北川博美 氏

広報映画上映「心の家路」

また、伊勢市総連合自治会の協力を得て「愛の資金」募金を実施した。

目 標 額	3,200,000 円
実 績 額	3,163,130 円

## ○ 遺家族等援護事業

### 1 戦没者等遺族の受付状況

戦没者等の遺族に対する第9回特別弔慰金 受付 77件

戦傷病者の妻に対する特別給付金 受付 1件

戦没者の妻に対する特別給付金 受付 0件

### 2 恩給関係書類交付及び指導状況

受給者死亡に係る失権届提出指導 6件

受給権調査、請求相談指導 3件

住所変更届等 0件

### 3 伊勢市戦争犠牲者追悼式

戦争犠牲者を追悼し、恒久平和を祈念することを目的に、平成 21 年度伊勢市戦争犠牲者追悼式を開催した。

開催年月日	平成 22 年 2 月 23 日（火）		
開催場所	伊勢市生涯学習センター いせトピア 多目的ホール		
参列者	戦没者、戦災死没者及び引揚げ物故者の遺族	309 名	
	来賓及び役員	42 名	

## ○ 婦人相談関係

女性に対する人権侵害等の悩み、また平成 13 年 10 月 13 日「配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律」の施行により相談及び援助に関わる中で、その問題の解決や処遇を行い、次のとおり成果を収めた。

婦人相談の状況

相談種別	実人員	延べ件数
夫等の暴力（DV）	40 人	217 件
離婚問題	19	24
夫等の問題（酒乱・薬物中毒等）	1	1
子どもの問題 （子どもの暴力・養育不能等）	2	2
親族の問題 （親・その他親族の暴力等）	13	36
その他の人間関係	6	13
経済関係 （借金・生活困窮等）	2	4
医療関係	1	1
合計	84	298

一時保護の状況 2 件

## ○ 生活保護関係

健康で文化的な最低限度の生活を保障し、その自立を助長することを目的とした生活保護法の理念に基づいて、適正な保護の実施に努めた。

### 1 生活保護法による扶助実施状況

区分 月別	被保護 世帯数	被保護 人員	保 護 の 状 況							
			生活 扶助	住宅 扶助	教育 扶助	介護 扶助	医療 扶助	出産 扶助	生業 扶助	葬祭 扶助
4	世帯 883	人 1,172	人 996	人 804	人 75	人 180	人 952	人 0	人 25	人 0
5	880	1,164	993	798	75	177	949	0	23	0



6	888	1,167	998	810	74	185	962	0	25	0
7	893	1,180	1,014	815	76	189	953	0	26	0
8	895	1,188	1,012	816	77	194	965	0	27	0
9	895	1,188	1,005	815	77	191	953	0	26	0
10	896	1,187	1,016	808	77	187	961	0	26	0
11	899	1,194	1,023	826	78	186	957	0	26	0
12	902	1,195	1,028	833	80	188	955	0	26	0
1	904	1,188	1,027	825	78	188	946	0	24	0
2	916	1,201	1,037	838	76	185	957	0	27	1
3	925	1,210	1,041	847	77	183	969	0	29	0
累計	10,776	14,234	12,190	9,835	920	2,233	11,479	0	310	1

## 2 扶助費支給状況

種 別	延べ世帯数	延べ人員	支出金額	構 成 比
生活扶助	世帯 8,989	人 12,190	円 582,160,559	% 27.29
住宅扶助	7,294	9,835	192,855,176	9.04
教育扶助	579	920	9,371,919	0.44
介護扶助	2,086	2,233	42,254,637	1.98
医療扶助	9,398	11,479	1,271,347,680	59.59
出産扶助	0	0	0	0
生業扶助	279	310	4,181,889	0.20
葬祭扶助	1	1	1,009,374	0.05
小 計	28,626	36,968	2,103,181,234	98.58
保護施設事務費	195	195	30,300,952	1.42
合 計	28,821	37,163	2,133,482,186	100.00

## ○ 住宅手当緊急特別措置事業

### 1 概要

本事業は、離職者であって就労能力及び就労意欲のある者のうち、住宅を喪失している者又は喪失するおそれのある者に対して、住宅手当を支給することにより、これらの者の住宅及び就労機会の確保に向けた支援を行うものである。

なお、本事業は雇用失業情勢に対応すべく国において平成 21 年 4 月に決定された「経済危機対策」に位置付けられているものであり、平成 21 年 10 月 1 日から実施している。

## 2 効果

離職者であって就労能力及び就労意欲のある者のうち、住宅を喪失している者又は喪失するおそれのある者に対して、住宅手当を支給することにより、これらの者の住宅及び就労機会の確保に向けた支援を行うことで、就労意欲のある離職者等の生活が安定し、セーフティネット機能が強化・拡充された。

## 3 状況

月別	世帯数	支給月数	支給金額
	世帯	月	円
10	0	0	0
11	0	0	0
12	0	0	0
1	1	1	33,400
2	3	4	163,600
3	4	4	163,600
累計	8	9	360,600

## ○ 福祉施設管理関係

地域福祉の活動拠点となる福祉施設の管理を行い、心身障害者、老人、児童等の福祉の向上と市民の健康増進を図った。なお、平成 18 年 9 月 1 日から福祉健康センター及びみなとデイサービスセンターに指定管理者制度を導入し、サービスの向上を図っている。

### (1) 福祉健康センター

#### ア 施設の内容

身体障害者福祉センター

老人福祉センター

中央児童センター

心身障害者小規模授産施設（ひまわり授産所）

会議室（1・2で老人デイサービス）（3・4・5は会議、研修等）

中央保健センター

休日・夜間応急診療所（内科・小児科・歯科）

#### イ 指定管理者及び指定管理料（建物管理分）

指定管理者 社会福祉法人 伊勢市社会福祉協議会

平成 21 年度指定管理料 36,336,000 円

指定期間 平成 18 年 9 月 1 日から平成 23 年 3 月 31 日まで（4 年 7 ヶ月間）

ウ 利用及び使用状況

区分 月別	身体障害者福祉センター	老人福祉センター	中央児童センター	会議室	保健センター	休日 夜間 応急 診療所	ヘルストロン	その他	計
4	2,865	2,418	1,699	1,445	2,709	1,328	1,341	92	13,897
5	2,710	2,171	1,849	1,154	2,650	2,440	1,538	81	14,593
6	2,864	2,414	1,477	1,532	2,940	1,194	1,569	117	14,107
7	3,472	3,061	2,424	1,883	3,497	1,598	1,460	103	17,498
8	2,797	2,401	2,632	1,058	3,522	1,732	1,363	109	15,614
9	2,601	2,127	1,169	1,118	2,365	2,486	1,491	97	13,454
10	2,744	2,092	1,332	1,068	3,145	2,494	1,541	84	14,500
11	2,616	2,900	980	1,162	2,521	3,990	1,469	86	15,724
12	2,574	1,710	1,141	1,015	4,303	3,472	1,368	76	15,659
1	2,593	2,288	1,371	1,078	2,354	3,340	1,415	94	14,533
2	2,768	2,284	1,413	1,173	2,522	1,444	1,432	86	13,122
3	2,912	2,727	1,895	1,277	2,447	1,366	1,478	102	14,204
合計	33,516	28,593	19,382	14,963	34,975	26,884	17,465	1,127	176,905

エ 使用料収入

区分 月別	センター使用料	附属設備器具使用料	冷暖房使用料	計
4	円 331,000	円 0	円 0	円 331,000
5	16,100	2,960	0	19,060
6	22,300	4,900	9,120	36,320
7	15,300	200	5,520	21,020
8	20,900	1,740	10,850	33,490
9	10,400	2,970	3,080	16,450
10	75,500	200	0	75,700
11	22,800	8,850	7,790	39,440
12	2,900	0	1,020	3,920
1	18,100	0	3,480	21,580
2	26,500	3,530	4,910	34,940
3	8,300	5,860	8,000	22,160
合計	570,100	31,210	53,770	655,080

オ 施設の整備

(ア) 業務委託

施行場所	委託名	委託概要	金額	着手	完了
八日市場町地内	(注1) 伊勢市福祉健康センター空調設備改修工事基本設計業務委託	鉄骨鉄筋コンクリート造4階建 延べ面積4,407㎡	円 1,257,900	21. 7. 3	21. 8. 25
〃	(注1) 伊勢市福祉健康センター空調設備改修工事实施設計業務委託	鉄骨鉄筋コンクリート造4階建 延べ面積4,407㎡	4,179,000	21.10.23	22. 2. 8

(注1) 建築住宅課施行

(イ) 工事

施行場所	工事名	工事概要	金額	着工	完工
八日市場町地内	休日歯科診療所1F待合室空調機取替工事	空調機取替 一式	円 840,000	21. 7. 8	21. 7. 22
神地港内	みなとデイサービスセンターガス給湯器取替工事	浴室追い炊き給湯器24号取替 1台 特浴用給湯器32号増設 1台	619,500	21. 7. 15	21. 8. 13
八日市場町地内	歯科休日応急診療所2階窓ガラス割れ替え工事	窓ガラス取替 一式	157,500	21.10. 8	21.10. 9
〃	福祉健康センター屋根瓦復旧工事	屋根瓦復旧工事 一式	451,500	21.10. 8	21.11. 5
〃	(注1) 福祉健康センター屋上防水改修工事	屋上防水改修 640㎡	15,456,000	21.10.23	22. 1. 7
神地港内	みなとデイサービスセンター屋外フェンス補修工事	アルミフェンス補修工 一式	118,146	21.10.28	21.11.26
八日市場町地内	(注1) 伊勢市福祉健康センター窓断熱飛散防止フィルム貼り工事	断熱飛散防止フィルム貼り 一式	7,390,950	22. 1. 29	22. 3. 15
〃	(注1) (注2) 伊勢市福祉健康センター空調設備改修工事	ビルマルチエアコン12系統 一式	110,250,000	22. 3. 26	22.10.29

(注1) 建築住宅課施行

(注2) 平成21年度・22年度継続費

(2) みなとデイサービスセンター

ア 施設の内容

デイサービスセンター

在宅介護支援センター

イ 指定管理者及び指定管理料（建物管理分）

指定管理者 社会福祉法人 伊勢市社会福祉協議会

平成 21 年度指定管理料 2,756,000 円

指定期間 平成 18 年 9 月 1 日から平成 23 年 3 月 31 日まで（4 年 7 ヶ月間）

## ○ 社会福祉協議会関係

伊勢市社会福祉協議会を通じて、市民の多様なニーズに即応した福祉サービスの提供など、地域福祉の推進に大きな役割を果たした。

### 1 福祉ボランティア育成事業

市民ボランティアの活動拠点としてボランティアセンターを設置し、地域住民の福祉ニーズに応じた福祉の担い手養成のため、ボランティア活動への助成及び講座等の開催を行った。

(1) ボランティアセンター登録 団体登録 115 団体（3,048 人） 個人登録 26 人

(2) ボランティアグループ 24 団体へ活動支援として助成金を交付した。

(3) 福祉協力校に登録する小中高校 39 校へ福祉教育の支援として助成金を交付した。

(4) ボランティア養成講座、サマーボランティアスクール、ボランティア体験講座等を開催した。

### 2 伊勢市社会福祉大会の開催

伊勢市と共催で第 5 回伊勢市社会福祉大会を開催した。市内の福祉関係者が一堂に会し、福祉功労者を顕彰し、併せて地域福祉の啓発のため、福祉講演会を行った。

開催年月日 平成 22 年 2 月 17 日（水）

開催場所 伊勢市ハートプラザみその

顕彰者 団体 6、個人 32（うち市長感謝状 団体 2、個人 5）

参加者 388 人

講演会 講師 渡辺 哲雄 氏

演題 「老いの風景 一介護する側、される側の心理や老いへの心構え」

### 3 ふれあいのまちづくり事業

ふれあいを通じて、住民が共に地域で支えあうまちづくり体制と、地域特性を活かした創意と工夫による生活支援のしくみづくりを推進するため、各種事業を実施した。

#### (1) 地域福祉コーディネーターの設置

事業の企画立案や地域住民と関係機関とのネットワークづくりを行った。

(2) 心配ごと相談事業

民生委員・児童委員が相談員となって、住民の身近な相談窓口として、様々な相談に応じた。

実施回数 48回 相談者延人数 34人

(3) 総合相談事業

弁護士、司法書士、民生委員・児童委員が相談員となって、住民の相談に応じた。

実施回数 1回 相談者延人数 15人

(4) 福祉出前トークの開催

福祉サービスや福祉情報、社会福祉協議会が行う各種事業の紹介をするとともに、地域の福祉課題について話し合い、福祉ニーズを把握するため、社協職員が地域に出向いて講演等を行った。

実施回数 64回 延参加者数 1,906人

(5) 一人暮らし高齢者会食サービス

民生委員・児童委員や調理ボランティア等の協力を得て、一人暮らし高齢者を対象に食事サービスを提供するとともに地域による見守り活動を展開した。

会食サービス事業 実施回数 215回 延利用者数 5,571人

(6) ふれあいいきいきサロン事業

地域住民やボランティア、福祉団体が主体となって実施する「ふれあいいきいきサロン」へ助成を行い、明るく住み良い福祉のまちづくりを推進した。

区分	サロン設置数	実施回数	延参加者数
高齢者サロン	47箇所	525回	11,063人
子育てサロン	8	122	2,664
障がい児サロン	2	22	596

(参考)

社会福祉協議会 その他の主な地域福祉活動

1 小地域ネットワーク事業の推進

(1) 地域見守り活動事業

一人暮らし高齢者や高齢者世帯等の見守り活動、登下校時の見守りや声かけ運動などの事業に対し、自治会、老人クラブ、ボランティア等64団体に活動助成を行った。

(2) 一人暮らし高齢者乳酸菌飲料等宅配サービス事業

一人暮らし高齢者が地域で安心して生活出来るよう、宅配業者の協力のもと乳酸菌飲料等の配達を行い、安否確認と健康維持を図った。

登録者数 78人 延利用回数 24,453回

## 2 地域の福祉組織化の推進

(1) こども会等活動助成事業	助成団体	110 団体
(2) 児童公園遊具等整備補修事業	助成箇所	10 箇所
(3) 福祉団体活動助成事業	助成団体	45 団体
(4) 福祉施設等活動助成事業	助成団体	36 団体

## 3 募金関係

### (1) 共同募金運動

三重県共同募金会伊勢市共同募金委員会として10月から12月までの3ヶ月間、共同募金運動を自治会、各福祉団体、ボランティア等の協力を得て実施した。

募金総額 20,921,685 円

(内訳) 戸 別 募 金	17,105,147 円
法 人 募 金	1,382,500 円
街 頭 募 金	1,108,885 円
職 域・学 校 募 金	1,129,371 円
そ の 他	195,782 円

# こ ども 課

## ○ 児童福祉関係

### 1 児童福祉施設の状況

#### (1) 保育所

保護者が労働に従事し、又は疾病等のため家庭保育に欠ける児童を、家庭状況調査の上、入所決定し、健全育成を図った。

#### ア 保育所の入所状況

##### (ア) 公立保育所

区分 施設名	入 所 の 状 況										
	定員	入 退 所 人 員			年 齢 別 入 所 人 員 (3月31日現在)						
		4.1	退所	入所	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	計
明 倫	人 90	人 79	人 17	人 20	人 4	人 10	人 13	人 12	人 20	人 23	人 82
浜 郷	120	118	5	15	12	12	14	29	26	35	128
さくらぎ	90	77	5	8	3	13	20	15	10	19	80
あさま	90	53	4	8	5	10	13	9	12	8	57
大世古	150	154	18	15	6	35	28	19	37	26	151
きらら	60	68	3	10	2	8	8	19	22	16	75
二見浦	200	152	3	5	3	18	13	37	44	39	154
五 峰	100	107	3	8	3	12	16	22	31	28	112
高 城	60	46	3	6	3	6	6	12	8	14	49
あけぼの	100	111	3	15	6	19	22	23	30	23	123
しらとり	60	69	3	3	0	0	12	23	12	22	69
ゆりかご	120	131	6	24	6	22	29	33	30	29	149
御菌第一	180	172	11	12	5	19	27	44	35	43	173
御菌第二	150	95	10	18	7	17	18	23	15	23	103
合 計	1,570	1,432	94	167	65	201	239	320	332	348	1,505



(イ) 私立保育所

区分 施設名	入 所 の 状 況										
	定員	入 退 所 人 員			年 齢 別 入 所 人 員 (3月31日現在)						
		4.1	退所	入所	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	計
大 湊	人 90	人 83	人 6	人 15	人 7	人 8	人 10	人 22	人 18	人 27	人 92
一 色	120	128	4	22	9	19	21	42	27	28	146
村 松	45	32	3	12	4	8	9	4	11	5	41
船 江	90	71	8	14	7	17	6	18	11	18	77
たけのこ	120	103	7	9	10	17	19	15	20	24	105
マリア	120	125	3	15	15	24	19	27	25	27	137
東大淀	90	70	4	17	7	9	11	20	19	17	83
豊浜西	120	138	3	25	12	20	25	35	29	39	160
みどり	60	28	0	1	1	1	1	10	10	6	29
有 滝	60	46	7	11	6	9	9	13	9	4	50
中 須	90	103	4	11	8	10	11	22	30	29	110
佐 八	90	76	4	8	1	10	14	16	19	20	80
みややま	90	101	2	6	6	12	20	25	17	25	105
なかよし	45	50	2	8	8	12	7	9	9	11	56
合 計	1,230	1,154	57	174	101	176	182	278	254	280	1,271

運営経費 932,268,410 円

イ 特別保育事業

仕事等の社会的活動と子育て等の家庭生活との両立を支援し、安心して子育てができる環境を整備するため、各種の特別保育事業を実施した。

(ア) 保育所地域活動事業

公私立保育所全施設において、地域住民が主体的に子育てに関われるようにし、多世代の交流を促進した。

(イ) 障害児保育事業

保育所での集団保育が可能で、かつ保育に欠ける障がいをもつ児童について、保育所に受入れをして健常な児童とともに保育することにより健全育成を図った。

区分	重 度	中 度	計	保 育 所 ( 園 )
公 立	12 人	19 人	31 人	明倫、さくらぎ、大世古、きらら、二見浦、五峰、高城、あけぼの、しらとり、ゆりかご、御菌第一、御菌第二
私 立	6	7	13	大湊、一色、村松、たけのこ、マリア、豊浜西、中須、佐八、なかよし
合 計	18	26	44	21 箇所

(ウ) 地域子育て支援センター事業

地域の子育て支援機能の充実を図り、子育ての不安感等を緩和し、児童の健やかな育ちを促進することを目的として、子育て支援センターきらら館、小俣子育て支援センター、明倫保育所、二見浦保育園において、専任の保育士を配置し、子育て家庭の交流の場の提供、子育てに関する講座の開催、育児不安についての相談指導、子育てサークル等への支援等を実施した。

子育て支援センターきらら館

- ・来館者数 延べ 19,574 人
- ・子育て講座 69 回 延べ 5,367 人
- ・子育て相談 186 件
- ・機関紙発行 14 回
- ・サークル支援 6 団体
- ・出前保育（コミュニティーセンター・児童センター等）33 回 延べ 579 人
- ・夏祭り 1 回 86 人
- ・運動会 1 回 32 人
- ・もちつき 1 回 57 人
- ・クリスマス会 1 回 98 人

小俣子育て支援センター

- ・利用者数 延べ 17,745 人
- ・子育て講座 162 回 延べ 4,487 人
- ・子育て相談 75 件
- ・機関紙発行 12 回
- ・サークル支援 10 団体
- ・出前保育（若山児童公園・大仏山公園）2 回 延べ 96 人
- ・夏祭り 1 回 165 人
- ・運動会 1 回 91 人
- ・芋ほり 1 回 94 人
- ・クリスマス会 1 回 113 人
- ・人形劇 1 回 112 人
- ・お別れ会 1 回 49 人

## 明倫保育所

- ・利用者数 延べ 886 人
- ・子育て講座 26 回 延べ 446 人
- ・子育て相談 14 件
- ・機関紙発行 12 回
- ・たなばた会 1 回 22 人
- ・夏祭り 1 回 28 人
- ・人形劇 2 回 50 人
- ・クリスマス会 1 回 15 人

## 二見浦保育園

- ・利用者数 延べ 1,795 人
- ・子育て講座 53 回 延べ 661 人
- ・子育て相談 21 件
- ・機関紙発行 56 回
- ・かるたとり 7 回 187 人
- ・やきいも会 2 回 58 人
- ・もちつき会 1 回 34 人
- ・クリスマス会 1 回 26 人
- ・ひなまつり会 1 回 34 人
- ・人形劇 2 回 58 人

### (エ) 休日保育事業

日曜日、祝日等の保護者の就労等により、家庭で児童の保育が困難な場合に、保護者の子育てと仕事の両立を支援するため、休日保育を行った。

実施保育所	保育所きらら館	延べ	406 人
	なかよし保育所	延べ	272 人

### (オ) 一時保育促進事業

保護者の傷病・入院、災害・事故、育児疲れの解消等のために、保育所に入所していない児童の一時的な保育を行った。

実施保育所	保育所きらら館	1 日利用	延べ	572 人
		半日利用	延べ	497 人
	小俣子育て支援センター	1 日利用	延べ	77 人
		半日利用	延べ	111 人

### (カ) 延長保育促進事業

早朝から保育所を開所し、11 時間を超えた延長保育を行い、保護者の子育てと仕事の両立を支援した。

実施保育所	開所時間	利用児童数
大世古保育所	午前7時15分～午後7時15分	延べ 151人
保育所きらら館	午前7時00分～午後7時00分	延べ 37人
たけのこ保育園	午前7時00分～午後7時00分	延べ 206人
豊浜西保育所	午前7時00分～午後7時00分	延べ 11人
みややま保育園	午前7時00分～午後7時00分	延べ 52人
なかよし保育所	午前6時30分～午後9時00分	延べ 200人

(キ) その他の保育事業

・低年齢児保育推進事業

延長保育、休日保育、一時保育等特別保育事業を実施し、定員もしくは入所児童数のいずれか多い方の1割以上の0、1歳児が入所する保育所に対して、0、1歳児保育の推進を図るため、保育士配置基準を緩和して保育士を配置した。

実施保育所 公立 2箇所 0、1歳児 延べ 523人  
 私立 5箇所 0、1歳児 延べ 1,250人

・延長保育促進事業（職員処遇改善分）

通常の保育時間を超えて、9時間以上の保育を実施している保育所へ補助し、職員の処遇改善を図った。

実施保育所 私立 13箇所

・一般保育事業

私立保育所と公立保育所の格差是正のため、補助金を交付し、私立保育所運営の円滑化を図った。

ウ 電話による乳幼児の育児相談

家庭で乳幼児の育児に悩む保護者を対象に、保育所が地域における身近な相談窓口（主に電話相談）という専門機能を活かし、相談事業を実施して保護者の育児不安の解消と乳幼児の健全育成を図った。

(ア) 実施保育所 大世古保育所

(イ) 電話相談実施日数 242日

(ウ) 電話相談実施状況

相談内容	件数
基本的生活習慣	6件
発育・発達	0件
その他	2件
計	8件

エ 保育所施設の整備

(ア)民間保育所施設整備

保育ニーズが高い小俣地区に保育所を開設する社会福祉法人に対し、施設整備費の一部を補助した。

施設名称	所在地	定員	構造・規模	開設年月日
えがお保育園	小俣町元町地内	60名	鉄骨造・2階建・429.37㎡	22. 4. 1
たこの保育園	小俣町新村地内	90名	木造・平屋建・711.59㎡	22. 4. 1

(イ)公立保育所施設整備

公立保育所施設の機能の維持及び向上を図るため、次のとおり工事及び委託を行った。

工事

施行場所	工事名	工事概要	金額	着工	完工
二見町 荘地内	二見浦保育園空調設備改修工事	子育て支援室空調機設置・撤去 1台 職員室空調機設置 1台	円 1,207,500	21. 6. 5	21. 6. 16
黒瀬町 地内	(注2) 浜郷保育所フェンス改修工事	フェンス設置 141.8m 門扉設置 2箇所 フェンス等撤去 1式	2,505,300	21. 6. 26	21. 8. 25
〃	浜郷保育所汚物流し及び給湯引込み工事	汚物流し台設置 1箇所 配管工事 1式	499,800	21. 6. 26	21. 8. 12
御菌町 長屋地内	御菌第一保育園配膳室空調機増設工事	配膳室中温用エアコン増設 1台	1,029,000	21. 7. 3	21. 7. 13
黒瀬町 地内	浜郷保育所調理室改装工事	天井吹抜部塗装 28.6㎡ 壁面・天井面塗装 58.5㎡ 床面塗装 18.2㎡ ピット底モルタル塗 12m	577,500	21. 9. 1	21. 10. 30
二見町 荘地内	二見浦保育園暖房機器撤去工事	オイルタンク撤去 1基 オイルリフター撤去 2台 オイルヒーター撤去 9台 露出部分配管撤去 1式	350,700	21. 8. 28	21. 9. 8
〃	二見浦保育園2歳児保育室床改修工事	保育室床改修 55㎡	1,291,500	21. 8. 28	21. 9. 30
〃	(注3) 二見浦保育園遊具及びフェンス設置工事	複合遊具設置・撤去 1基 ネットフェンス設置 105.0m グラウンドマット敷設 1.0㎡ コンクリート削孔 59孔	4,792,200	21. 9. 11	21. 11. 24
〃	二見浦保育園保育室床改修工事	乳児ほふく室ビニル床シート貼 51.4㎡ 既設カーペット撤去 51.4㎡	520,800	21. 10. 1	21. 11. 13

桜木町地内	(注1) さくらぎ保育所 シロアリ駆除及び び床改修工事	ほふく室床改修 乳児室床改修 廊下床改修	47.6 m <sup>2</sup> 32.4 m <sup>2</sup> 16.7 m <sup>2</sup>	円 2,506,350	21.10.23	21.12.14
御菌町長屋地内	(注1) 御菌第一保育園 床改修工事	遊戯室床改修 保育室床改修	190 m <sup>2</sup> 45.6 m <sup>2</sup>	3,591,000	21.12.4	22.2.16
計	11件	—	—	18,871,650	—	—

(注1) 建築住宅課施行 (注2) 維持課施行 (注3) 基盤整備課施行

委託

施行場所	委託名	委託概要	金額	着手	完了
吹上2丁目地内ほか	市立保育所緊急地震速報システム整備業務委託	緊急地震速報端末設置 14施設	円 668,850	21.7.22	21.9.30
計	1件	—	668,850	—	—

オ 四郷地区に開設する認定こども園の整備

四郷地区に開設する認定こども園施設整備のため、次のとおり建設用地の取得を行った。

所在地	筆数	地積	金額	売買年月日
一字田町地内	1筆	82.34 m <sup>2</sup>	1,795,012円	22.1.6

四郷地区に開設する認定こども園施設整備のため、次の業務を行った。

施行場所	委託名	委託概要	金額	着手	完了
一字田町地内ほか	(注1) 四郷地区認定こども園設計業務委託	鉄骨造 平屋建 延べ面積 1269.57 m <sup>2</sup>	円 6,134,100	21.7.10	22.3.29
一字田町地内	四郷地区認定こども園施設整備事業に伴う不動産鑑定評価業務	不動産鑑定 1筆	101,850	21.9.17	21.10.1
一字田町地内ほか	(注2) 四郷地区認定こども園建設に伴う地質調査業務委託	地質調査 4箇所	1,743,000	21.10.9	21.11.6
計	3件	—	7,978,950	—	—

(注1) 建築住宅課施行 (注2) 維持課施行

(2) 助産施設

保健上必要があるにもかかわらず、経済的理由により入院助産を受けることができない妊産婦を入所措置し、保健の向上を図った。

施設名	区分	入 所 措 置		措 置 費
		措 置 人 員	延べ措置日数	
山田赤十字病院		4人	37日	1,465,904円

### (3) 母子生活支援施設

18歳未満の児童を持つ母子世帯であって、その児童の福祉に欠ける母子を入所措置し、社会の共同生活に適応できるよう生活指導及び自立への支援を行った。

施設名	区分	入 所 措 置		措 置 費
		措 置 世 帯	措 置 期 間	
サラナ		2世帯	1世帯 4～9月 1世帯 4～3月	7,348,052円
菜の花苑		1世帯	1世帯 3月	214,101円
愛知しらゆり荘		2世帯	1世帯 4月 1世帯 4～3月	3,753,877円
計		5世帯		11,316,030円

### (4) 児童館・児童センター

児童センターを利用する児童に、遊びと運動等の必要な指導を行うとともに、地域の子ども会、母親クラブ等の組織活動の育成助長を図り、児童の健全育成に努めた。

施設名	区分	開館 日数	児童の利用数				その他の 利用者	総入館 者数
			幼児	小学生	中学生	計		
あさま児童センター		日 304	人 567	人 1,639	人 276	人 2,482	人 843	人 3,325
黒瀬児童センター		293	179	5,244	138	5,561	420	5,981
中央児童センター		303	4,194	9,042	1,379	14,615	4,767	19,382
明照児童館（民間）		341	883	13,953	283	15,119	1,756	16,875
計		—	5,823	29,878	2,076	37,777	7,786	45,563

## 2 心身障害児通園施設（おおぞら児童園）

### (1) 発達療育

- ・食事や排泄、衣服の着脱の自立を目指すなど、基本的な生活習慣の指導を行った。

実施時間帯 月・火・金曜日 午前9時～正午

利用児童数 延べ 981人

### (2) 機能回復訓練

- ・理学療法士、言語聴覚士、作業療法士による個々の状態にあわせた機能回復訓練を行った。

実施回数 年7回

利用児童数 延べ28人

(3) 言語訓練

- ・言語聴覚士が、言語に障がいや遅れのある児童に言語訓練を行った。

実施時間帯 火・木曜日 午前9時～午後4時

利用児童数 延べ483人

(4) 感覚運動あそび

- ・保育士による小集団でのコミュニケーション訓練を行った。

実施時間帯 月・水・木・金曜日

午前8時45分～午前9時45分、午後1時30分～午後3時30分

利用児童数 延べ840人

(5) 相談等

- ・児童の発達や療育についての相談に応じた。

(サービス管理責任者(おおぞら職員)、臨床心理士、言語聴覚士相談)

草の実りハビリテーションセンター巡回相談 年7回 28人

就学に向けての相談 延べ34人

子どもの発達療育についての相談 延べ150人

- ・保護者向け勉強会を開催した。

福祉制度について(障がい福祉課) 参加者82人

ことばについて(言語聴覚士) 参加者8人

ことばの教室について(ことばの教室担当教諭) 参加者46人

就学後に心配な事が起こったら(臨床心理士) 参加者15人

3 放課後児童対策事業

(1) 放課後児童クラブ運営委託

昼間、保護者のいない家庭の小学校低学年児童等について、放課後児童の育成指導等、遊びを主とする健全育成活動を行うため、放課後児童クラブの運営委託を実施した。

児童クラブ名	所在地	児童数(※)	開設日数
杉の子学童クラブ	久世戸町5番地 (修道小学校内)	24人	257日
すみれ学童クラブ	中島2-10-18	27	290
明照こどもクラブ	吹上2-5-41	59	291
ひまわり学童クラブ	藤里町1番地363	28	289
はまっこ学童クラブ	神社港20番地10	24	236
とよはま学童クラブ	西豊浜町1760番地	17	239
放課後学童クラブ リンドバーク	佐八町2061番地2	28	290



藍ちゃんの家ふぁみりーくらぶ 早 修 学 童 部	宮町 1-8-19	27 人	291 日
藍ちゃんの家ふぁみりーくらぶ 城 田 学 童 部	上地町 1770 番地	28	291
藍ちゃんの家ふぁみりーくらぶ 浜 郷 学 童 部	黒瀬町 1736 番地 2 (黒瀬児童センター内)	19	291
学童クラブレインボーキッズ	上野町 2908 番地	21	287
学童クラブシルバースプーン	河崎 1-14-21	14	290
合 計		316	—

(※) 児童数は毎月初日における利用児童数の平均

#### (2) 放課後児童クラブ施設整備

民設放課後児童クラブの新設に伴い、開設準備に要する施設整備、備品購入費等に対する補助を行った。

児童クラブ名	金額	開設日
明照子どもクラブ 棟 (施設整備)	円 3,780,000	H22. 4. 1
明照子どもクラブ 棟 (備品購入費)	300,000	H22. 4. 1
藍ちゃんの家厚生学童部 (施設整備)	9,815,200	H22. 4. 1
計	13,895,200	—

#### 4 乳幼児健康支援一時預かり事業

病気のために学校、幼稚園、保育所にて集団保育が困難で、家庭でも保育することが出来ない児童を一時的に預かり、就業と子育て両立を支援した。

	伊勢市	玉城町	度会町	計	委託先
児童数	295 人	4 人	7 人	306 人	神田小児科 病児保育エンゼル
延べ日数	612 日	12 日	21 日	645 日	

#### 5 子育て支援ショートステイ事業

保護者の疾病、出産等の理由により、一時的に家庭における児童の養育が困難となった場合に、施設において当該児童の養育、保護を行うため、また経済的理由等により緊急一時的な保護を必要とする母子を保護するため、市内 3 施設（精華学院、天理教三重互助園、サラナ）と事業委託契約を交わし事業を実施した。

件数	延べ利用日数	利用（稼働）日数	施設名	事業費
11 件	17 日	17 日	精華学院	98,700 円

6 ファミリー・サポート・センターの運営

児童福祉の向上及び仕事と家庭の両立を支援するため、依頼会員の要望に応じて提供会員を紹介し、相互の信頼と了解の上で一時的に児童を預かる会員組織である「いせファミリー・サポート・センター」の運営の充実を図った。

平成 22 年 3 月末現在

会 員 数				活動件数	委 託 先	事 業 費
依頼 会員	提供 会員	両方 会員	計			
215 人	132 人	27 人	374 人	2,592 件	NPO 法人三重みなみ子どもネットワーク	8,441,691 円

7 児童手当の支給

一定の要件を満たす児童を養育し、かつ定められた所得未満の者に対して児童手当を支給し、児童の健全育成を図った。

区分	受給者数 (H21.4月)	支 給 の 状 況		
		支払件数	延べ対象 児童数	金額
被 用 者 児 童 手 当	人 1,899	件 6,050	人 24,780	円 247,740,000
非 被 用 者 児 童 手 当	502	1,641	6,597	65,940,000
特 例 給 付 児 童 手 当	42	113	433	4,330,000
被 用 者 小 学 校 修 了 前 特 例 給 付	4,453	14,137	82,407	456,325,000
非 被 用 者 小 学 校 修 了 前 特 例 給 付	1,361	4,394	25,098	142,795,000
計	8,257	26,335	139,315	917,130,000

8 家庭児童相談

家庭における適切な児童養育、その他家庭児童福祉の向上を図るため、家庭児童福祉に関する種々の問題について、家庭児童相談室で相談指導等の対応を行った。

相談種類別受付件数

相談内容		件数	相談内容		件数
養護相談	児童虐待相談	13件	健康相談		2件
	その他の相談	27件	障がい 相談	肢体不自由相談	0件
育成相談	性格行動相談	2件		視聴覚障がい相談	0件
	不登校相談	5件		言語発達障がい等相談	0件
	適性相談	0件		重症心身障がい相談	0件
	育児・しつけ相談	7件		知的障がい相談	0件

非行相談	ぐ犯行為等相談	2件		自閉症等相談	2件
	触法行為等相談	0件	その他の相談		7件
計					67件

## 9 児童虐待防止活動

児童虐待の未然防止、早期発見及び被虐待児童の迅速かつ適切な保護等を円滑に行うため、伊勢市子ども家庭支援ネットワーク（要保護児童対策地域協議会）を設置し、会議等を開催した。

代表者会議委員 24 人 実務者会議委員 10 人

- (1) 代表者会議 3 回
- (2) 実務者会議 12 回
- (3) 個別ケース会議（随時開催、対象ケース(家庭)47 件） 62 回
- (4) 児童虐待防止広報・啓発活動

『広報いせ』5月号へネットワーク発足の記事を、11月号へ児童虐待の発見・通告を呼びかける記事を掲載した。

### (5) CAPプログラムの実施

CAP（子どもへの暴力防止）プログラムを市内保育所（園）・幼稚園・小学校において実施した。

実施施設 保育所（園）… 1 箇所、幼稚園… 2 箇所

参加者 児童 72 名、保護者・保育士・教諭等 60 名

## 10 次世代育成支援地域行動計画の推進

次世代育成支援対策推進法（平成 15 年 7 月 16 日公布）の制定に伴い、平成 18 年 3 月に策定した次世代育成支援行動計画の推進を図った。また、前期行動計画（計画期間 平成 17 年度～21 年度）を見直して伊勢市次世代育成支援行動計画〈後期〉（計画期間 平成 22 年度～26 年度）を策定した。

伊勢市次世代育成支援対策推進協議会の開催（6 回）

開催日：平成 21 年 5 月 28 日、9 月 7 日、10 月 5 日、11 月 9 日、平成 22 年 2 月 1 日、3 月 29 日

委員組織：学識経験者、医療関係者、福祉関係者、教育関係者、商工関係者、労働関係者、市民・保護者関係者、行政関係者

## 11 子育て応援特別手当の支給

平成 21 年 2 月 1 日において、平成 2 年 4 月 2 日～平成 17 年 4 月 1 日生まれの児童が 2 人以上いる世帯のうち、第 2 子以降である平成 14 年 4 月 2 日～平成 17 年 4 月 1 日生まれ(平成 20 年度において、小学校就学前 3 年間)の児童を支給対象とし、支給対象児童 1 人当たり 36,000 円を世帯主に支給し、子育て支援の強化を図った。

支給対象となる児童	支給額
1,784 人	64,224,000 円

## ○ 母子・寡婦福祉関係

### 1 児童扶養手当の支給

父親がいないか、又は父親と生計を同じくしていない児童の心身の健やかな成長に寄与するため支給される児童扶養手当の認定等の事務と支給業務を次のとおり行った。

3月末資格者数	支給額
1,288人	516,277,080円

各種届

新規認定請求	額改定	資格喪失	氏名変更	転入	転出	住所変更	その他	計
143件	60件	119件	23件	28件	24件	71件	96件	564件

### 2 自立支援教育訓練給付金

母子家庭の母の就労について、主体的な能力開発の取組みを支援し、自立の促進を図るため、市が指定する教育訓練講座を受講した母子家庭の母に対して、講座終了後に受講料の一部を支給した。

支給件数	講座受講料	支給金額
3件	257,280円	51,456円

### 3 母子・寡婦福祉資金貸付状況

母子家庭及び寡婦に対して、資金を貸し付け、生活意欲の助長と経済的自立を図った。  
(三重県の事業の申請受付事務等を行っている。)

区分	母子		寡婦	
	件数	金額	件数	金額
修学資金	9件	12,511,500円	0件	0円
就学支度資金	6	2,285,000	0	0
技能習得資金	1	1,800,000	0	0
生活資金	1	3,600,000	0	0
就業資金	1	315,700	0	0
計	18	20,512,200	0	0

### 4 母子・寡婦相談状況

母子家庭及び寡婦の身上相談に応じ、その自立に必要な指導を行った。

区分	相談内容				計
	生活一般	児童	生活援護	その他	
相談件数	128件	25件	238件	19件	410件

# 長 寿 課

## ○ 老人福祉関係

### 1 老人ホーム入所措置事業

(1) おおむね 65 歳以上の高齢者で、居宅において養護を受けることが困難な者を、養護老人ホームへ入所措置した。

施設名	年度当初入所者数	年度中の入退所者数		年度末入所者数	年間延べ措置人員	措置費
		入所者	退所者			
高田慈光院	2人	0人	0人	2人	24人	3,481,556円
梨ノ木園(盲)	3	0	1	2	33	6,093,045
清和の里	1	0	0	1	12	2,612,841
花園寮	1	0	0	1	12	1,820,690
かんざん園	0	1	0	1	2	427,492
高砂寮	32	5	2	35	419	71,827,179
万亀会館	91	21	16	96	1,122	152,488,220
合計	130	27	19	138	1,624	238,751,023

### (2) 老人ホーム入所判定状況

老人ホームへ入所の申出のあった高齢者に対して、4回入所判定委員会を開催し、入所措置の可否の判定を受けた。

前年度末待機者数	申請者数	判定回数	要措置判定件数	保留件数	却下件数	今年度取下件数	今年度末待機者数
23人	36人	4回	34件	1件	1件	8件	22人

### 2 老人クラブ補助金事業

地域老人クラブ及び老人クラブ連合会の活発な活動を助長するため、高齢者福祉を増進する諸事業に対して助成した。

- |                     |            |
|---------------------|------------|
| (1) 単位老人クラブ         | 175クラブ     |
| 会 員 総 数             | 11,491人    |
| 1クラブ平均会員数           | 66人        |
| 助 成 金               | 8,122,100円 |
| (2) 単位老人クラブ(重点配分事業) | 6クラブ       |
| 助 成 金               | 508,700円   |
| (3) 伊勢市老人クラブ連合会     | 1クラブ       |
| 助 成 金               | 3,443,200円 |

(4) 健康づくり事業

実施クラブ	伊勢市老人クラブ連合会	
助成金	520,000円	
事業実績	体力づくり事業	208名参加（1回開催）
	グラウンドゴルフ推進事業	927名参加（5回開催）
	健康増進料理講習会	130名参加（4回開催）
	軽体操教室	203名参加（10回開催）
	カローリング教室	125名参加（1回開催）

3 老人乗合バス運賃助成事業

市内に在住する75歳以上の高齢者を対象に、三重交通の市内路線バス全線（スカイライン線除く）及び市が運行するコミュニティバス全線で利用できる寿バス乗車券（100円券×40枚の回数券）を交付することでバス乗車運賃の助成を行い、高齢者の外出を容易にして孤立感の解消に努めるとともに、移動に伴う経済的な負担の軽減を図った。

- (1) 事業費 21,431,771円（うち扶助費 19,742,400円）
- (2) 交付者数 9,488人（交付率 55.2%）
- (3) 利用枚数 197,424枚（利用率 52.0%）

4 敬老金支給事業

市内に在住する年度末時点で満77歳、88歳、99歳の高齢者に対し、敬老と長寿を祝福し、感謝の意を表するため敬老金を贈呈した。

	支給金額	人数	計
77歳	5,000円	1,546人	7,730,000円
88歳	10,000	451	4,510,000
99歳	10,000	29	290,000
計	—	2,026	12,530,000

5 成年後見制度利用支援事業

成年後見制度の利用が有効と認められるにも関わらず申し立てを行う者がいない場合、市長の権限による申し立てを行うとともに、必要経費を助成することにより、成年後見制度の利用促進を図った。また、制度の周知及び啓発を図るため、講演会・シンポジウムを開催した。

(1) 申し立て実績

申し立て件数	2件
助成額	16,280円

(2) 講演会

～高齢者にやさしいまちと生活を考えよう！～  
開催日 平成22年3月12日

場 所 ハートプラザみその  
事業費 50,000 円

## ○ 在宅支援事業関係

### 1 生きがい活動支援通所事業

おおむね 65 歳以上の在宅の高齢者で、介護保険で「非該当」又は自立とみなされる虚弱な高齢者を対象に、デイサービスセンター等への通所により、教養講座、日常動作訓練、趣味創作活動等サービスを提供することにより、社会的孤立感の解消、心身機能の維持を図るとともに、要介護状態への進行の予防を図った。

事業所名	利用延べ人員	利用延べ回数	金額
双 寿 園	27 人	115 回	295,460 円
あ さ ま 苑	1	1	2,420
社会福祉協議会（伊勢支所）	354	1,310	2,698,600
伊 勢 ま ご こ ろ	315	1,108	2,276,300
藍 ち ゃ ん の 家	35	129	265,740
みなとデイサービスセンター	161	623	1,283,380
デイサービスセンターオアシス	12	100	206,000
宮 川 さ く ら 苑	14	37	89,540
楽 寿 苑	2	7	16,940
高 砂 寮	32	166	401,000
社会福祉協議会（御菌支所）	23	91	202,220
合 計	976	3,687	7,737,600

### 2 生活管理指導事業

おおむね 65 歳以上の高齢者で、介護保険で「非該当」又は自立とみなされる虚弱な高齢者等で、基本的な生活習慣の欠如や対人関係が成立しにくいなど社会生活を営むうえで支障のある者に対し、生活管理指導員（ホームヘルパー）の派遣や短期間の宿泊により日常生活に対する指導及び支援を行い、基本的な生活習慣が身につくように日常生活や対人関係の構築、家事等に関する指導及び支援を行い要介護状態への進行を予防した。

#### (1) 生活管理指導員派遣事業

派遣施設	ホームヘルパー派遣延べ人数	訪問延べ回数	金額
伊勢市社会福祉協議会（伊勢支所）	12 人	92 回	172,224 円

(2) 生活管理指導短期宿泊事業

施設名	短期宿泊 利用延べ人数	利用延べ日数	金額
高砂寮	0人	0回	0円

3 外出支援サービス事業

おおむね65歳以上の寝たきり及び下肢の不自由な高齢者で、一般の交通機関を利用することが困難な者に対し、医療機関などへ受診するときの移送用車両（リフト付タクシー等）の利用を支援し、高齢者の福祉の増進を図った。

事業所名	利用回数	金額
福祉タクシー 西村（有）	122回	709,000円
三重名鉄タクシー（株）	68	286,000
野呂自動車（有）	1,064	5,105,000
め組福祉タクシー	224	706,000
陣吉福祉タクシー	9	32,000
こころ福祉タクシー	8	30,000
ケアタクシーワクワク	3	5,000
計	1,498	6,873,000

4 寝具類等洗濯乾燥消毒サービス事業

おおむね65歳以上のひとり暮らし高齢者又は高齢者のみの世帯で、老衰・心身の障害及び傷病等の理由により寝具類等の衛生管理が困難な者に対し、寝具の洗濯、乾燥、消毒のサービスを行い、高齢者の心身のリフレッシュおよび衛生状況の向上を図った。

事業所名	利用実人員	利用延べ回数	金額
三重県クリーニング 生活衛生同業組合伊勢支部	10人	13回	73,710円

5 訪問理美容サービス事業

おおむね65歳以上のひとり暮らし高齢者又は高齢者のみの世帯で、老衰・心身の障害及び傷病等の理由により一般の理容店や美容院に出向くことが困難な者に対し、訪問理美容サービスのうち移動にかかる費用等の助成を行い、高齢者の精神及び衛生状況の向上を図った。

事業所名	利用実人員	利用延べ回数	金額
伊勢理容組合	15人	21回	21,000円
ヘアーサロン アサマ	4	35	35,000
松本理容室	1	3	3,000
まつこ美容室	1	1	1,000
計	21	60	60,000



6 軽度生活援助事業

おおむね 65 歳以上のひとり暮らし高齢者又は高齢者のみの世帯で、日常生活上の援助が必要な者に対して、軽易な日常生活上の援助を行うことにより、在宅での自立した生活の継続を可能にするるとともに、要介護状態への進行防止を図った。

事業所名	利用延べ人数	利用延べ回数	金額
社団法人伊勢市シルバー人材センター	234 人	418 回	562,800 円
N P O 法人 伊勢まごころ	6	6	17,280
計	240	424	580,080

7 緊急通報体制等整備事業

(1) 福祉電話貸与

65 歳以上のひとり暮らし高齢者で、低所得（生活保護受給世帯・市県民税非課税世帯等）のため、電話を設置できない人に電話を設置し、高齢者の安否確認、相談等の便宜を図った。

支援内容	実施台数	金額(円)
老人用福祉電話基本料扶助	33 台分の基本料金	707,710
老人用福祉電話設置負担金	5 台分の設置	27,930
老人用福祉電話廃止負担金	3 台分の廃止	4,200
計		739,840

(2) 緊急通報装置貸与

65 歳以上のひとり暮らしで虚弱な高齢者等に対して、緊急通報装置を設置し、急病等の緊急時に迅速かつ的確に対処できる体制を整備することで、ひとり暮らし高齢者等の日常生活の安全確保に努めた。

ア 貸与状況

貸与状況				延べ貸与台数	委託料
年度当初	新規	撤去・休止	年度末		
295 台	19 台	48 台	266 台	3,299 台	7,438,490 円

イ 通報状況

(単位：件)

月	通報件数	電話対応 解決	協力員 確認要請	救急車 出動要請	待機員 出動
4 月	17	33	0	2	6
5 月	1	14	0	2	8
6 月	3	19	0	3	13
7 月	2	13	0	2	7
8 月	3	23	0	3	11
9 月	3	11	0	3	5

月	通報件数	電話対応 解決	協力員 確認要請	救急車 出動要請	待機員 出動
10月	2	19	0	2	7
11月	1	16	0	1	4
12月	2	20	0	2	8
1月	2	0	0	2	2
2月	4	0	0	4	4
3月	2	0	0	2	2
計	42	168	0	28	77

## 8 食の自立支援事業

高齢者の食の自立を目的として、65歳以上のひとり暮らし又は高齢者のみの世帯で、栄養改善が必要で、買い物と調理が困難な虚弱な高齢者に対し、定期的に居宅に訪問して栄養のバランスのとれた食事を提供するとともに、安否確認を併せて行い、日常生活の支援を行った。

事業所名	利用実人数	利用回数	金額
白百合園	4人	288回	100,800円
八百正	38	3,169	1,109,150
藍ちゃんの家	115	9,823	3,438,050
癒以膳	44	3,259	1,140,650
宅配クック123	49	2,287	800,450
計	250	18,826	6,589,100

## 9 高齢者世話付住宅等生活援助員派遣事業

高齢者の生活面・健康面での不安に対応する為に、高齢者向け優良賃貸住宅正邦苑竹ヶ鼻、高齢者世話付住宅市営リバーサイドせせらぎに居住する高齢者に対し、生活援助員を派遣し、生活指導・相談、安否確認、一時的な家事援助、緊急時の対応などのサービスを提供することによって、高齢者が安全かつ快適な生活を営むことができるよう、自立した在宅生活を支援した。

援助内容	延べ件数
生活指導・相談	1件
安否確認	28,168
一時的家事援助	2,619
緊急時対応	55
関係機関との連携	136
その他必要な援助	34
計	31,013

10 在宅介護支援事業（在宅介護支援センター活動事業）

在宅の高齢者や要介護高齢者の介護者に対し在宅介護に関する総合的な相談に応じるとともに、当該高齢者及びその介護者のニーズに対応した保健福祉サービスが総合的に受けられるよう、関係機関との連絡調整を行い、当該高齢者及びその家族の福祉の増進を図った。

(1) 実施状況

在宅介護支援センター 9箇所

在宅介護支援センター名	委託先	金額
在宅介護支援センター神路園	社会福祉法人 伊勢医心会	700,000円
在宅介護支援センター双寿園	社会福祉法人 邦栄会	700,000
在宅介護支援センター白百合園	社会福祉法人 福德会	700,000
在宅介護支援センター山咲苑	医療法人社団 愛敬会	700,000
在宅介護支援センター正邦苑	社会福祉法人 慈恵会	700,000
みなと在宅介護支援センター	社会福祉法人伊勢市社会福祉協議会	700,000
在宅介護支援センター楽寿苑	社会福祉法人 邦栄会	700,000
二見ふれあいプラザ	社会福祉法人伊勢市社会福祉協議会	700,000
小俣在宅介護支援センター	社会福祉法人伊勢市社会福祉協議会	700,000
計		6,300,000

(2) 実施内容

ア 相談業務

( ) 内実人員、単位：人

在宅介護支援センター名	延べ相談者数	(再掲) 延べ訪問者数
在宅介護支援センター神路園	119 ( 51)	8
在宅介護支援センター双寿園	131 ( 75)	11
在宅介護支援センター白百合園	212 ( 62)	30
在宅介護支援センター山咲苑	268 ( 106)	30
在宅介護支援センター正邦苑	64 ( 24)	10
在宅介護支援センター楽寿苑	221 ( 40)	35
みなと在宅介護支援センター	169 ( 151)	49
二見ふれあいプラザ	234 ( 79)	47
小俣在宅介護支援センター	341 ( 97)	17
計	1,759 ( 685)	237

イ 高齢者実態把握

地域の高齢者等の心身の状況及びその家族の状況等の実態を把握するとともに、介護に関するニーズの評価を行う。金額（事業費）は1件あたり 900円。

平成21年度 実績なし

## 11 万亀会館施設整備事業

平成 19 年 8 月伊勢市より移管を受けた社会福祉法人が行った、養護老人ホーム万亀会館の改築後の旧施設の解体及び介護予防・高齢者の健康づくりのための健康ひろば整備の経費に対して補助を行った。

団体名	住 所	金 額
社会福祉法人 伊勢医心会	伊勢市二俣町 577 番地 9	105,927,000 円

## ○ 地域包括支援センター関係

### 1 介護予防ケアマネジメント事業（特定高齢者関係）

生活機能評価から選定された、特定高齢者（要支援、要介護状態になる恐れがある高齢者）に対して、保健師が、家庭訪問等を通じて介護予防事業の説明、参加の意思確認をした上で、必要な対象者に対して、ケアプランの作成を行い、介護予防の推進に努めた。

特定高齢者数	趣 旨 説 明 実 施 件 数	ケ ア プ ラ ン 作 成 者 数	内 訳
385 人	381 件	43 人	通所型介護予防事業参加者 42 人 訪問型介護予防事業参加者 1 人

### 2 総合相談事業・権利擁護事業

#### (1) 総合相談事業

高齢者の生活を福祉、医療、介護、保健など総合的に支えていくために、社会福祉士・主任ケアマネジャー・保健師等が、高齢者本人や家族からの相談に対し、さまざまな制度や社会資源の説明及び支援を行った。

ア 総合相談件数 (単位：件)

区 分	実 数	延 数
件 数	555	891

イ 相談方法 (単位：件)

区 分	電 話	来 所	そ の 他	合 計
延 数	448	392	51	891

ウ 相談内容 (単位：件)

区 分	生 活	介 護	施 設	認 知	医 療	福 祉	虐 待	消 費 者	成 年	そ の 他	合 計
延 数	136	391	57	56	28	39	34	2	56	92	891

※虐待相談件数には疑い事例も含む。

#### (2) 権利擁護業務

高齢者の人権や財産を守るため、地域の様々な福祉・保健・医療などの関係機関と連携をとりながら、虐待の防止・早期発見に努めるとともに、悪徳商法などの消費者被害の未然防止や、契約行為の履行のための成年後見制度の活用促進に努めた。

ア 高齢者虐待についての相談・通報対応件数等

養護者による虐待に関する相談・通報対応件数（実数）	15 件
事実確認により虐待を受けたと思われると判断した事例	10 件

イ 虐待の種類（重複） ※上記、虐待と判断した事例についての虐待の種類（単位：件）

区 分	身 体 的	介 護 ・ 世 話 の 放 棄 ・ 放 任	心 理 的	性 的	経 済 的
件 数	6	0	12	0	4

ウ 被虐待者との関係（単位：人）

区 分	夫	妻	息 子	娘	そ の 他	計
件 数	3	1	7	4	0	15

エ 被虐待者の性別（単位：人）

区 分	男	女	計
人 数	5	10	15

※ 1 件の事例に対し、被虐待者が複数であったため、被虐待者数は 15 人であった。

3 包括的・継続的ケアマネジメント支援事業

在宅と施設・病院等の間での継続的なケアマネジメントを確立するため、困難事例をはじめ、地域のケアマネジャーが抱える日常業務における相談に対し、支援助言を行った。

(1) ケアマネジャーの相談

ア ケアマネジャーの相談件数

区 分	実 数	延 数
件 数	28 件	119 件

(2) ケアマネジャーの支援

- ・ 支援困難事例ケア会議（延数） 19 回
- ・ 地域包括ケア検討会 5 回

（在宅介護支援センター及び居宅介護支援事業所ケアマネジャー対象）

○ 地域包括支援センター運営事業

1 地域包括支援センター運営事業

保健・医療・福祉の連携の拠点のさらなる充実と、高齢者の生活を総合的に支える地域包括ケア体制の実現にむけ、高齢者の支援体制の強化・充実を図るため、地域包括支援センターの増設を行った。

(1) 業務委託内容

- ア. 総合相談・支援事業
- イ. 権利擁護事業
- ウ. 包括的・継続的ケアマネジメント支援事業
- エ. 介護予防ケアマネジメント事業

(2) 委託先および業務委託料

委 託 先	業務委託料	う ち 支 出 済 額
伊勢市西地域包括支援センター (社会福祉法人 伊勢市社会福祉協議会) (委託期間：平成 20 年度～平成 22 年度)	17,000,000 円	5,000,000 円 (H21. 4 月) 4,000,000 円 (H21. 7 月) 4,000,000 円 (H21.10 月) 4,000,000 円 (H22. 1 月) (平成 21～22 年度債務負担行為)
伊勢市東地域包括支援センター (社会福祉法人 洗心福社会) (委託期間：平成 21.7 月～平成 22 年度)	13,250,000 円	5,250,000 円 (H21. 8 月) 4,000,000 円 (H21.10 月) 4,000,000 円 (H22. 1 月) (平成 22 年度債務負担行為)

○ 介護予防サービス計画作成事業

1 介護予防ケアマネジメント事業（予防給付関係）

介護認定審査会で要支援 1・要支援 2 と認定された要支援者に対して、適切な介護予防マネジメントを行い、介護状態の悪化を予防し、自立した生活がおくれるよう支援を行った。

- ・ 家庭訪問によるアセスメント及びケアプランの作成
- ・ 介護予防サービス事業者との担当者会議の開催
- ・ 定期的なモニタリングや評価の実施

(1) 要支援認定者

	要 支 援 1	要 支 援 2	計
要 支 援 者	611 人	701 人	1,312 人
割 合	47%	53%	100%

(平成 22 年 3 月末現在)

(2) 要支援認定者（直営分）のうち介護予防サービス利用者のケアプラン作成件数（認定別）

	要 支 援 1	要 支 援 2	計
直 営	79 件	98 件	177 件
委 託	45	74	119
計	124	172	296

(平成 22 年 3 月末現在)

※ ケアプラン作成委託事業所 41 事業所

(うち、平成 22 年 3 月末時点ケアプラン作成事業所 28 事業所)

(3) ケアプラン請求件数および作成料（月別）

作成料はケアプラン 1 件あたり平成 21 年 3 月分まで 4,000 円、平成 21 年 4 月分から 4,120 円  
新規加算については 1 件あたり平成 21 年 3 月分まで 2,500 円、平成 21 年 4 月分から 3,000 円

(請求件数の内件数)

	請求件数合計			うち委託分請求件数		
	請求件数(件)	新規件数(件)	作成料(円)	請求件数(件)	新規件数(件)	作成料(円)
3月	365	13	1,492,500	138	2	557,000
4月	370	18	1,576,560	145	11	628,300
5月	379	21	1,623,860	144	6	610,540
6月	397	28	1,718,900	147	8	629,640
7月	272	11	1,153,640	112	5	476,440
8月	283	13	1,204,960	111	3	466,320
9月	273	9	1,151,760	113	4	477,560
10月	281	17	1,208,720	109	4	461,080
11月	295	18	1,269,400	118	8	510,160
12月	291	16	1,246,920	122	9	529,640
1月	299	16	1,279,880	127	8	547,240
2月	288	14	1,228,560	120	0	494,400
計	3,793	194	16,155,660	1,506	68	6,388,320

※ 平成21年3月～平成22年2月

(現物給付分は3月から翌年2月分までのサービス提供に係る保険給付をひとつの会計年度として取り扱うこと等による。)

# 障 がい 福 祉 課

## 1 障害者地域生活支援事業

### (1) 障害者地域生活相談支援事業

伊勢市と度会郡の4町が設置している伊勢・度会地区障害者相談支援センター「ブレス」の運営を社会福祉法人に委託し、家庭訪問、来所・電話による相談を受け付け、障がい福祉サービスに関する情報提供、ケースマネジメント等を実施した。

- ア 委託先 社会福祉法人 三重済美学院  
 イ 委託金額 15,696,200 円  
 ウ 委託期間 平成21年4月1日から平成22年3月31日  
 エ 相談等延件数 (単位：件)

種別	来所	電話	家庭訪問	職場訪問	その他	計
身体障がい	95	243	129	13	306	786
知的障がい	1,093	1,103	414	107	1,016	3,733
精神障がい	372	1,284	133	17	283	2,089
その他	32	92	37	0	92	253
計	1,592	2,722	713	137	1,697	6,861

### (2) 日常生活用具給付事業

(単位：円)

種 目	対 象 者	区 分	件 数	金 額
特 殊 寝 台	下肢・体幹2級以上	給 付	3	431,020
特 殊 マ ッ ト	下肢・体幹1級以上又は知的A2以上	給 付	1	17,640
浴 槽	下肢・体幹2級以上	給 付	1	67,500
入 浴 補 助 用 具	下肢・体幹機能障がい	給 付	1	16,065
T 字 杖、棒 状 の 杖	平衡、下肢、体幹機能障がい	給 付	6	16,500
移 動・移 乗 支 援 用 具	平衡、下肢、体幹機能障がい	給 付	2	103,320
頭 部 保 護 帽	平衡、下肢、体幹、知的、精神	給 付	7	90,592
特 殊 便 器	上肢2級以上、知的A2以上	給 付	1	120,600



聴覚障がい者用 屋内信号装置	聴覚2級	給付	1	14,175
透析液加温器	腎臓機能障がい3級以上で自己 連続携帯式腹膜灌流法（CAPD） による透析療法を行う者	給付	2	91,350
ネブライザー（吸入器）	呼吸器3級以上 又は同程度の身体障がい児（者）	給付	7	222,750
電気式たん吸引器	呼吸器3級以上 又は同程度の身体障がい児（者）	給付	16	705,964
携帯用会話補助装置	音声・言語機能障がい児（者） 又は肢体不自由者	給付	1	80,028
視覚障がい者用 ポータブルレコーダー	視覚2級以上	給付	3	158,625
視覚障がい者用 拡大読書器	視覚障がい児（者）であって、 本装置により文字等を読むこと が可能になる者	給付	4	667,800
盲人用時計	視覚2級以上	給付	4	34,470
点字図書	情報の入手を点字によっている 視覚障がい児（者）	給付	1	3,200
視覚障がい者用IC タグレコーダー	視覚2級以上	給付	1	52,200
ストマ用装具	ストマ造設者	給付	1,499	11,931,384
紙おむつ	高度の排便、排尿機能障がいの ある全身性障がい児（者）等	給付	370	3,884,908
居宅生活動作補助用具	下肢・体幹 又は運動機能障がい3級以上	給付	4	507,863
合計	—	—	1,935	19,217,954

### （3）地域活動支援センター事業

社会福祉法人等、指定事業所への通所による創作的活動・生産活動の機会を提供し、障がいのある人の社会との交流の促進を図った。

実利用人数 123人 給付費 3,346,481円

### （4）日中一時支援事業

障がいのある人の家族の就労支援や一時的な休息を図るため、障害福祉サービス事業所等において、障がいのある人に日中における活動の場を提供し、見守り、社会に適応するための日常的な訓練等、適切な支援を行った。

実利用人数 50人 給付費 4,114,658円

### （5）移動支援事業

屋外での移動が困難な人に、外出のための移動に対する付き添いなどの支援を行った。

実利用人数 57人 給付費 6,660,995円

(6) 身体障害者情報保障事業

○手話通訳設置事業

手話通訳者を窓口を設置する事により、コミュニケーションがスムーズになり、聴覚障がいのある方の社会参加の促進を図った。

窓口対応件数（4月～3月） 194件

設置人数 常勤1名（午前8時30分～午後5時15分・月曜日は午後7時まで）  
非常勤1名（午前9時30分～午後1時30分）

決算額 4,313,836円

○手話通訳者・要約筆記者派遣事業

意思疎通を図ることに支障がある人とその他の人の意思疎通を仲介するために手話通訳者・要約筆記者を派遣する事により、聴覚障がいのある方の社会参加の向上を図った。

主な派遣内容 会議・講演会・医療・教養講座・職場面接・式典  
学校等懇談会・学校等保護者会・福祉団体行事・年金等手続き・イベント

手話通訳者派遣件数 58件 登録通訳者数 11名

要約筆記者派遣件数 34件 登録通訳者数 30名

決算額 586,623円

○手話奉仕員養成事業

手話のできる人を増加することにより、手話通訳者の増員及び手話通訳者派遣事業の充実を図った。（奉仕員：コミュニケーションがとれるもの）

手話奉仕員養成講座入門課程（5月22日～3月12日）

20名受講×2会場（小俣公民館、二見老人福祉センター）

講師：大屋眞理子氏（伊勢市聴覚障害者福祉協会）

手話奉仕員ステップアップ講座（全9回）

7名受講（伊勢市福祉健康センター）

講師：大屋眞理子氏（伊勢市聴覚障害者福祉協会）

決算額 197,252円

○点字広報・声の広報発行事業

広報を点訳及び音訳することにより、視覚障がい者の情報保障の充実を図った。

点字広報発行事業 150,000円 声の広報発行事業 200,000円

(7) 障がい児サマースクール事業

障がいのある児童の夏期休暇中における日中活動の場を提供し、介護者の負担軽減を図るため、障がい児サマースクールを実施（全8回開催）

ア 開催日	平成21年8月3日（月）	知的障がい児受入日
	平成21年8月6日（木）	身体障がい児受入日
	平成21年8月10日（月）	知的障がい児受入日

平成 21 年 8 月 13 日 (木) 身体障がい児受入日  
 平成 21 年 8 月 19 日 (水) 知的障がい児受入日  
 平成 21 年 8 月 21 日 (金) 身体障がい児受入日  
 平成 21 年 8 月 25 日 (火) 知的障がい児受入日  
 平成 21 年 8 月 28 日 (金) 身体・知的障がい児合同受入日

イ 開催時間 午前 10 時～午後 3 時  
 ウ 開催場所 二見老人福祉センター  
 エ 参加児童 延べ 112 名 (平均 1 回あたり 14 人)

(8) 重度障害者訪問入浴サービス事業

重度の身体障がいにより、自宅浴槽での入浴が困難な 65 歳未満で在宅の人に対し、入浴車で訪問し、入浴や洗髪の介助を行った。

ア 事業費 7,912,500 円  
 イ 実利用人数 8 人  
 ウ 述べ利用回数 633 回

(9) フリースペース運営事業費補助事業

障がいのある人に日中活動、生活交流、休息の場を提供する「フリースペース」を実施・運営する者に対して補助金を交付することにより、障がいのある人の社会参加及び社会復帰の促進を図った。

ア 補助件数 3 件  
 イ 補助金額 608,300 円

(10) 障がい者体育祭開催事業

障がいのある人の社会参加等を図るため、障がい者体育祭実行委員会に事務局として参加し、開催を支援した。

ア 日 時 平成 21 年 6 月 27 日 (土)  
 イ 場 所 県営サンアリーナ  
 ウ 参加人数 357 人 (障がい者・家族 242 人、ボランティア等 115 人)  
 エ 負担金 450,000 円

(11) ふれあい交流事業

陶芸教室を実施することにより、障がいのある方とそうでない方の交流を深め、相互の理解を深めた。

ア 日 時 平成 21 年 7 月 23 日 (木) 午前 10 時～11 時 30 分  
 イ 場 所 二見老人福祉センター 1 階 集会室  
 ウ 参加人数 145 人  
 エ 決算額 300,000 円

## 2 障害者外出支援事業

### (1) 重度障害者タクシー料金助成事業

重度の障がいのある人の自立更生、社会参加等を促すため、障がいのある人が利用したタクシー料金の一部を助成し、経済的負担の軽減及び社会的活動への参加の促進を図った。

- ア 対象者 身体障害者手帳（下肢・体幹・視覚障がい1級～2級、内部障がい1級）又は療育手帳A、精神障害者保健福祉手帳1級～3級の交付を受けている人
- イ 交付枚数等 1人につき600円券年間36枚を限度とし、乗車1回につき1枚使用
- ウ 乗車券交付者 502人
- エ 助成額 4,881,000円

### (2) 重度身体障害者リフト付タクシー料金助成事業

車椅子等でしか移動できない重度の障がいのある人が利用したリフト付タクシー料金の一部を助成し、経済的負担の軽減及び社会的活動への参加の促進を図った。

- ア 対象者 身体障害者手帳（下肢・体幹機能障がい1～3級）の交付を受けている人のうち、外出時に車いす又は移動寝台を必要とする人
- イ 交付枚数等 1人につき1,000円券年間72枚を限度とし、乗車1回につき6枚まで使用
- ウ 乗車券交付者 38人
- エ 助成額 488,000円

### (3) 心身障害児言語等機能回復訓練通園旅費助成事業

心身に障がいのある人は、早期発見及び早期治療が必要であるので、その障がいを治療するために県立あすなろ学園及び草の実学園等に通園する児童に対し、その健全育成を図るため、通園旅費を助成した。

- ア 支給人員 1人
- イ 助成額 31,100円
- ウ 支給基準 通園先が県内にある場合は旅費の全額を、県外にある場合は旅費の半額を助成し、1人につき月額15,000円を上限とする。

## 3 障害者福祉運営対策経費

### (1) 身体障害者デイサービス事業

在宅生活をしている方で体に障がいのある人が社会適応訓練や創作活動等を行う、デイサービス事業の運営を委託した。

- ア 身体障害者福祉センターデイサービス運営事業（パソコン教室等）
  - 委託先 伊勢市社会福祉協議会
  - 委託料 14,674,000円
  - 実利用人数 63人（4月～3月）
  - 利用回数 1,042回（4月～3月）

イ 重度身体障害者デイサービス運営事業（くじら）

委託先 伊勢市社会福祉協議会

委託料 55,050,000 円

実利用人数 23 人（4～3月）

利用回数 2,534 回 給食 2,496 回 入浴 366 回（いずれも 4～3月）

（2）身体障害者福祉センター運営委託事業

身体障害者福祉センターを利用する障がいのある人の利便性の向上や、社会参加を促進するため、身体障害者福祉センターの運営を委託した。

委託先 伊勢市社会福祉協議会

委託料 4,888,000 円

（3）自立更生事業補助金

市内の障害者団体に対し、その活動経費を助成し、会員の自立更生を図った。

ア 助成団体 11 団体

イ 補助金額 1,565,500 円

4 障害者啓発事業

（1）障害者週間啓発事業

12月3日～9日にわたる「障害者週間」の意義を広く市民に啓発し、ノーマライゼーションの理念を普及するため、街頭啓発と作品展示を実施した。

ア 街頭啓発

①日 時 平成 21 年 11 月 28 日（土）

午前 10 時 30 分～正午頃

②場 所 ジャスコ伊勢店、イオンララパークショッピングセンター、伊勢みそのショッピングセンター、ピアゴ上地店、ベリー小俣店、プライスカット伊勢二見店、バローミタス伊勢店

③配布物品数 1,440 個

イ 作品展示

①日 時 平成 21 年 12 月 7 日（月）～10 日（木）

②場 所 伊勢市役所本館 1 階ロビー（市民ホール）

③展示内容 伊勢市中心臓疾患心友会による絵手紙の展示

ウ 事業費 170,498 円

5 障害者手当等給付事業

（1）特別障害者手当等給付事業

在宅の重度障がい者（児）に対し、その重度障がいによって生じる負担軽減を図るため、特別障害者手当等を支給した。

手 当 名	手 当 月 額	年 度 末 実 人 員	支 延 べ 人 給 員	支 給 金 額
特 別 障 害 者 手 当	円 26,440	人 143	人 1,720	円 45,476,800
障 害 児 福 祉 手 当	14,380	51	668	9,605,840
福 祉 手 当	14,380	13	161	2,315,180
計	—	207	2,549	57,397,820

(支給対象者)

特別障害者手当 … 精神又は身体に重度の重複障がい有するため、日常生活において常時特別の介護を必要とする状態にある、在宅の20歳以上の人

障害児福祉手当 … 精神又は身体に重度の障がい有するため、日常生活において常時特別の介護を必要とする状態にある、在宅の20歳未満の人

福祉手当 … 20歳以上で旧制度による福祉手当を受給していた人のうち、特別障害者手当の支給要件に該当せず、かつ障害年金も支給されない人

## (2) 福祉給付金の支給

市民税非課税世帯に属する在宅の人のうち下記のいずれかの条件に該当する人に、福祉の増進を図るため、福祉給付金を支給した。(ただし、介護用品支給事業の利用者及び重度心身障害者紙おむつ等支給事業の利用者を除く。)

1. 1級の身体障害者手帳の交付を受けている人
2. 「A」の療育手帳の交付を受けている人
3. 1級の精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている人

区 分	対 象 者 数	支 給 単 価	支 給 金 額
前期支給(6月)	人 133	円 12,000	円 1,596,000
後期支給(12月)	140	12,000	1,680,000
計	273	—	3,276,000

## 6 障害者自立支援対策臨時特例交付金特別対策事業

### (1) 通所サービス利用促進事業

障がいのある人が新体系の日中活動サービス事業所、旧体系の通所施設及び短期入所施設が行う送迎サービスを利用する場合、利用者1人につき片道540円(短期入所の場合1,860円)、1事業所あたり年間300万円を上限額とし、その送迎に要する費用を助成した。

- ア 対象者数 202人
- イ 実施事業所数 18箇所
- ウ 助成額 19,321,476円

(2) 新事業移行促進事業

新体系事業所に移行した場合に、当該移行に伴うコストの増加等に対応できるよう、移行した事業所に対し、助成金を交付することにより、移行を促進した。

- ア 助成対象者数 53人
- イ 事業所数 8箇所
- ウ 助成額 293,000円

(3) グループホーム等緊急整備事業

障害者自立支援法における基盤整備事業として、グループホームやケアホームの整備を促進するため、グループホーム等の設置を緊急に実施する事業所に対して、施設整備費補助を行った。

- ア 施設名 タウニィ辻久留（辻久留1丁目176番地3）
- イ 設置運営主体 特定非営利活動法人伊勢ふるさと会
- ウ 補助金額 7,500,000円（県：3,750千円、市：3,750千円）

(4) 視覚障害者等情報支援緊急基盤整備事業

視覚障がいのある人等に対する情報バリアフリーを一層促進するため、「点字プリンタ」を整備し、視覚障がいのある人等への情報支援の充実を図った。

事業費 394,800円

7 障害者通所等支援事業

障がいのある人が通所等により訓練等を行う場合、低所得世帯に対し通所等に要する費用を助成した。

- ア 基準額 通所 日額80円【月額上限1,500円】  
入所 (利用料+食費-食費実費相当分) ÷ 2
- イ 対象者数 349人
- ウ 助成額 3,663,285円

8 障害者小規模作業所対策事業

(1) 小規模作業所運営事業委託料・小規模作業所運営事業費補助金

在宅の障がいのある人の社会的自立と社会参加を促進するため、小規模作業所の運営を委託又は補助を行い、福祉の増進を図った。

施設名	設 年 月 日	設 置 主 体	運 営 主 体	通 所 人 員	主 な 作 業 内 容	委 託 料 又 は 補 助 金
ひまわり 授産所	S55.11.1	伊勢市	(社)伊勢市社 会福祉協議会	人 11	自主製品製造 下請け加工	円 11,124,000
工房そみん	H12.4.1	伊勢市	(社)伊勢市社 会福祉協議会	9.6	自主製品製造 古紙回収	13,332,000
さくら園	H元.4.1	伊勢市	(社)伊勢市社 会福祉協議会	13.3	自主製品製造 下請け加工	17,134,000
しらぎく園	H7.4.1	伊勢市	(社)伊勢市社 会福祉協議会	6.5	自主製品製造 下請け加工	6,012,000
杉の木園	H2.7.9	(社)まほろば の里	(社)まほろば の里	7.9	自主製品製造 下請け加工	4,407,000

※通所人員は、月平均実績人数

(2) 小規模作業所入所負担金

市外の小規模作業所へ通所する障がいのある人について、その入所経費を、設置する市町へ負担することにより福祉の増進を図った。

施設名	設置主体	運営主体	通所人員	負担金
夢工房たまき (玉城町)	玉城町	(社)玉城町 社会福祉協議会	人 1	円 318,600

9 障害者介護給付等事業

障がい福祉サービスの利用について給付費の支給を希望・申請した人に対し、支給決定し給付費の支給を行った。

(1) 障害者介護給付・訓練等給付等事業 (3～2月)

事業名	実利用人数	支援費額	サービス内容
居宅介護 (ホームヘルプサービス)	人 112	円 57,297,903	居宅において介護、家事等生活全般にわたる援助を行う
短期入所 (ショートステイ)	74	17,595,896	介護を行う人の疾病その他の理由により、施設に短期間入所し、適切な支援を行う
生活介護	121	252,027,505	常に介護が必要な人に、施設で入浴や排せつ、食事の介護や創作的活動等の機会を提供する
児童デイサービス	100	25,458,739	通所により日常生活動作や集団生活への適応等に関する指導及び訓練を行う
療養介護	7	20,665,178	医療が必要で常に介護が必要な人に、医療機関で機能訓練や療養上の管理、看護、介護等を行う
共同生活介護 (ケアホーム)	37	35,699,324	共同生活場所で入浴や排せつ、食事の介護を行う
施設入所支援	66	73,502,429	施設に入所している人に、入浴や排せつ、食事の介護を行う
自立訓練 (機能訓練)	2	1,643,445	自立した日常生活や社会生活ができるよう身体機能向上のために必要な訓練を行う
自立訓練 (生活訓練)	11	11,744,461	自立した日常生活や社会生活ができるよう生活能力向上のために必要な訓練を行う



自立訓練（宿泊型自立訓練）	人 1	円 632,850	自立した日常生活や社会生活ができるよう、一定期間居住の場を提供して生活能力向上のために必要な訓練を行う
就労移行支援	24	23,497,070	就労を希望する人に、一定の期間における生産活動やその他の活動の機会の提供、知識や能力の向上のための訓練を行う
就労継続支援（A型）	2	2,621,333	雇用契約に基づき、就労の機会や生産活動等の提供を行う
就労継続支援（B型）	119	93,154,610	事業所で働くことが困難な人に、就労の機会や生産活動等の提供を行う
共同生活援助（グループホーム）	11	3,249,882	地域で共同生活を営む人に、日常生活上の援助を行う
旧身体障害者療護施設	10	35,712,563	常時介護を必要とする障がいのある人が対象で、治療及び養護を行う
旧身体障害者授産施設	1	534,573	自立と社会経済活動への参加に向け、必要な訓練及び職業の提供を行う
旧知的障害者更生施設	103	189,012,338	入所及び通所により日常生活における自立と社会参加のための訓練を行う
旧知的障害者授産施設	61	96,946,879	自立と社会経済活動への参加に向け、生産活動の機会の提供、必要な助言・指導を行う
旧知的障害者通勤寮	2	1,264,166	入所することにより、就労している障がい者の独立・自活に必要な援助・指導を行う

## 10 障害程度区分認定事業

### （1）障害程度区分認定審査会の状況

障害者自立支援法及び伊勢市障害者介護給付費等の支給に関する審査会条例に基づき、伊勢市介護給付費等の支給に関する審査会を設置し、障害程度区分認定等に係る審査業務を行った。

- ア 委員数 10人（2合議体、1合議体5人で構成）
- イ 委員構成 内科医師2人、精神科医師2人、医療ソーシャルワーカー2人  
障害者相談支援員1人、障害者施設職員3人
- ウ 開催回数 22回

エ 判定件数

非該当 (件)	区分 1 (件)	区分 2 (件)	区分 3 (件)	区分 4 (件)	区分 5 (件)	区分 6 (件)	計 (件)
0	2	32	58	56	30	80	258

(2) 障害程度区分認定調査の状況

障害者自立支援法に基づき、障害福祉サービス利用申請者の訪問調査を実施した。

ア 調査件数 286 件 (含、訓練等給付のみを利用する人 28 件)

イ 調査員数 専門調査員 (市嘱託職員) 1 人 (専門調査員の外、職員も実施。)

11 補装具費支給事業

日常生活や社会生活の向上を図るため、補装具費の支給を次のとおり実施した。

(1) 身体障害者補装具費の支給 (購入及び修理)

種 目	区 分	件 数	金 額
義 肢	購 入	3	円 397,096
	修 理	10	1,103,246
装 具	購 入	18	1,094,282
	修 理	12	108,793
座 位 保 持 装 置	購 入	3	1,201,331
	修 理	6	232,582
盲 人 安 全 つ え	購 入	7	26,712
義 眼	購 入	1	55,620
眼 鏡	購 入	3	48,645
補 聴 器	購 入	51	2,805,981
	修 理	36	452,955
車 い す	購 入	13	1,700,714
	修 理	25	580,696
電 動 車 い す	修 理	16	882,653
歩 行 器	購 入	1	11,520
歩 行 補 助 つ え	購 入	2	20,187
重度障害者用意思伝達装置	購 入	1	463,400
計	—	208	11,186,413

(2) 身体障害児補装具費の支給（購入及び修理）

種 目	区 分	件 数	金 額
装 具	購 入	9	円 1,261,027
	修 理	1	53,951
座 位 保 持 装 置	購 入	7	1,750,867
	修 理	2	65,368
補 聴 器	修 理	9	80,023
車 い す	購 入	13	2,284,799
	修 理	3	62,479
起 立 保 持 具	購 入	2	438,863
歩 行 器	購 入	5	467,145
計	—	51	6,464,522

12 身体障害者医療給付事業

身体に障がいのある人の障がいの除去又は軽減を図るため、更生医療費（人工関節置換術・人工透析等、その他適用を受けることができる治療、投薬等の治療にかかる医療費）を次のとおり給付した。

医 療 費 の 給 付	
診療延べ件数	実人員
385 件	37 人

事業費 26,162,718 円（歳入による診療報酬返還金を除く）

13 自立支援医療（精神通院）の受付

在宅で精神に障がいのある人の通院医療を促進し、地域での生活を支援するため、通院医療費公費負担に関する申請及び届出を受け付けた。

平成 22 年 3 月末受給者証交付件数	1,097 件
----------------------	---------

## ○ 身体障害者手帳の交付

身体障がい者の自立更生の援助と生活の安定を図るため、次のとおり身体障害者手帳を交付した。

### (1) 新規交付数等異動状況

障がい		区分	4月1日 手帳交付数	新交	規付	転入	転出 死変	死亡 更	3月 末 手帳 交付 数
肢体障がい者	児		60	6	0			△10	56
	者		3421	179	20		△148		3,472
視覚障がい者	児		2	1	0		0		3
	者		456	17	5		△19		459
聴覚障がい者	児		18	0	0		△2		16
	者		859	35	1		△38		857
言語障がい者	児		2	0	0		0		2
	者		88	8	0		△6		90
内部障がい者	児		22	0	0		△1		21
	者		1,569	178	9		△111		1,645
計	児		104	7	0		△13		98
	者		6,393	417	35		△322		6,523

### (2) 等級別交付状況（平成22年3月末現在）

障がい		区分	1級	2級	3級	4級	5級	6級	計
肢体障がい者	児		23	1	21	7	0	4	56
	者		634	761	673	815	391	198	3,472
視覚障がい者	児		1	0	1	1	0	0	3
	者		158	117	45	41	46	52	459
聴覚障がい者	児		0	6	3	3	0	4	16
	者		61	188	113	142	5	348	857
言語障がい者	児		0	1	0	1	—	—	2
	者		1	3	46	40	—	—	90
内部障がい者	児		14	0	6	1	—	—	21
	者		941	20	340	344	—	—	1,645
合計	児		38	8	31	13	0	8	98
	者		1,795	1,089	1,217	1,382	442	598	6,523

## ○ 療育手帳の交付

知的障がいのある人に対して一貫した指導・相談及び援護措置を行うため、療育手帳を交付した。

区分 障がい		年度当初 手帳交付数	新交	規付	転入	転死 変	出亡 更	3月 末 手帳交付数
A (重度)	児	件 65		件 0		件 1		件 64
	者	323		2		0	11	336
B (中軽度)	児	98		14		0	△15	97
	者	289		6		0	1	296
計	児	163		14		1	△17	161
	者	612		8		0	12	632

## ○ 精神障害者保健福祉手帳の交付

精神に障がいのある人に対して社会復帰・社会参加の促進を図るため、保健福祉手帳の申請及び交付事務を行った。

21年度 等級		平成21年4月当初 手帳交付数	平成22年3月末 手帳交付数	増	減
1級		件 46	件 53		件 7
2級		277	302		25
3級		121	136		15
計		444	491		47